

# 水質部会資料 1

## 諮 問 事 項

水生生物の保全に係る  
水質環境基準の類型指定について

<参 考 資 料>

## 参考資料

- 参考資料 1 類型指定を行うために必要な基礎情報
- 参考資料 2 公共用水域の類型指定現況図  
水生生物保全環境基の類型指定フローチャート  
水域区分と環境基準点の設定の例  
類型指定に係る水域区分についての情報の整理表
- 参考資料 3 審議会の答申に係る福岡県意見書提出制度要綱

類型指定を行うために必要な基礎情報

## 目 次

1	矢矧川	・ ・ ・ ・ 1
2	汐入川	・ ・ ・ ・ 7
3	釣川	・ ・ ・ 1 3
4	大根川	・ ・ ・ 1 9
5	桜井川	・ ・ ・ 2 5
6	雷山川	・ ・ ・ 3 1
7	加茂川	・ ・ ・ 3 7
8	福吉川	・ ・ ・ 4 3
9	矢部川及び日向神ダム	・ ・ ・ 4 9
1 0	星野川	・ ・ ・ 6 0
1 1	辺春川	・ ・ ・ 6 6
1 2	白木川	・ ・ ・ 7 2
1 3	飯江川	・ ・ ・ 7 8
1 4	沖端川	・ ・ ・ 8 4
1 5	塩塚川	・ ・ ・ 9 0

# 1 矢矧川

## 1-1 水質

### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 1-1-1 に示す。

BOD（75%値）は、平成 28 年度のみ環境基準を達成している。

表 1-1-1 BOD の水質測定結果（矢矧川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
矢矧川 [C]	矢矧橋	H25	1.8	～	7.5	5.9	12	5 以下
		H26	0.7	～	9.0	5.6	12	
		H27	2.1	～	6.2	5.3	12	
		H28	1.5	～	6.6	4.3	12	
		H29	3.1	～	9.1	6.1	12	
		平均	—	—	—	5.4	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 1-1-2 及び図 1-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 1-1-2 全亜鉛の水質測定結果（矢矧川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
矢矧橋	H25	0.009	～	0.027	0.017	4
	H26	0.011	～	0.015	0.014	4
	H27	0.008	～	0.022	0.016	4
	H28	0.009	～	0.011	0.010	4
	H29	0.008	～	0.028	0.014	4
	平均			—	0.014	—

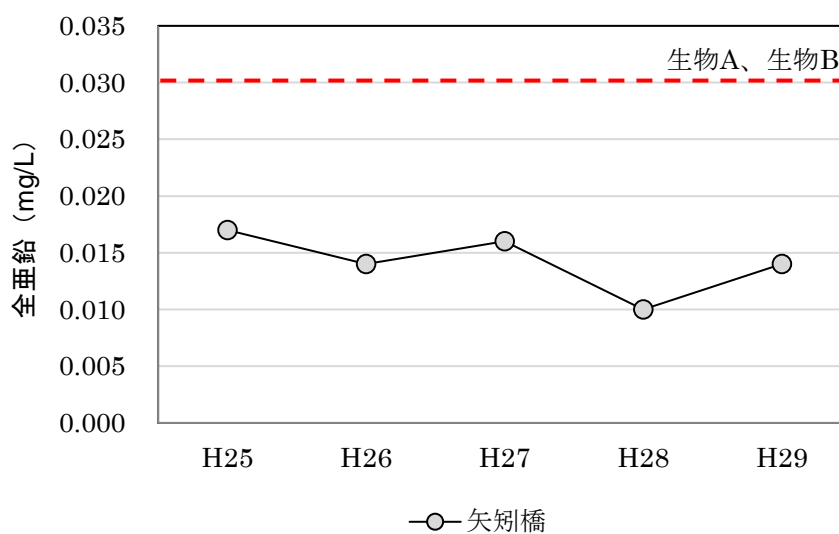


図 1-1-1 全亜鉛の水質測定結果（矢矧川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表1-1-3及び図1-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 1-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（矢矧川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
矢矧橋	H25	0.00014	～	0.00014	0.00014	1
	H26	<0.00006	～	0.00007	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	0.00006	～	0.00007	0.00006	4
	平均			—		0.00008

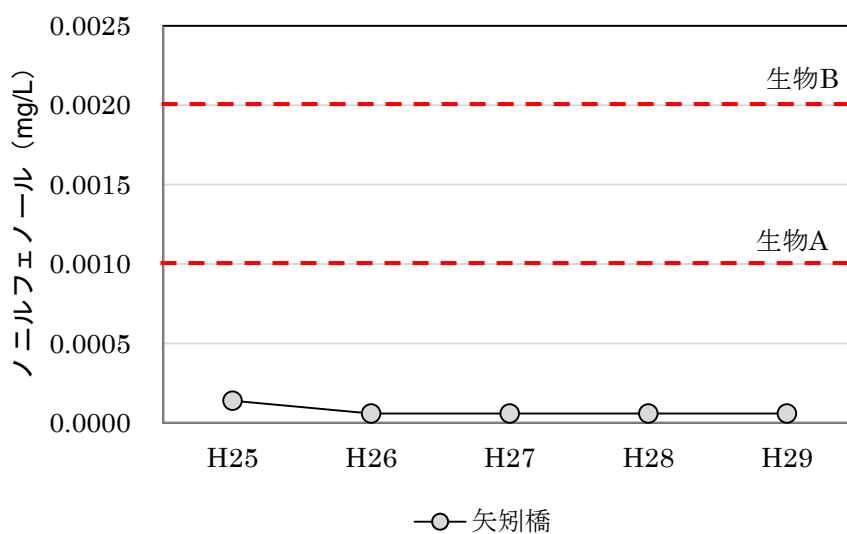


図 1-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（矢矧川）

(4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 1-1-4 及び図 1-1-3 に示す。  
 参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類  
 型の環境基準値を下回っていた。

表 1-1-4 LAS の水質測定結果 (矢矧川)

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
矢矧橋	H26	0.0013	～	0.045	0.016	4
	H27	0.0015	～	0.0049	0.0025	4
	H28	<0.0006	～	0.0030	0.0021	4
	H29	0.0007	～	0.069	0.018	4
	平均		—		0.0097	—

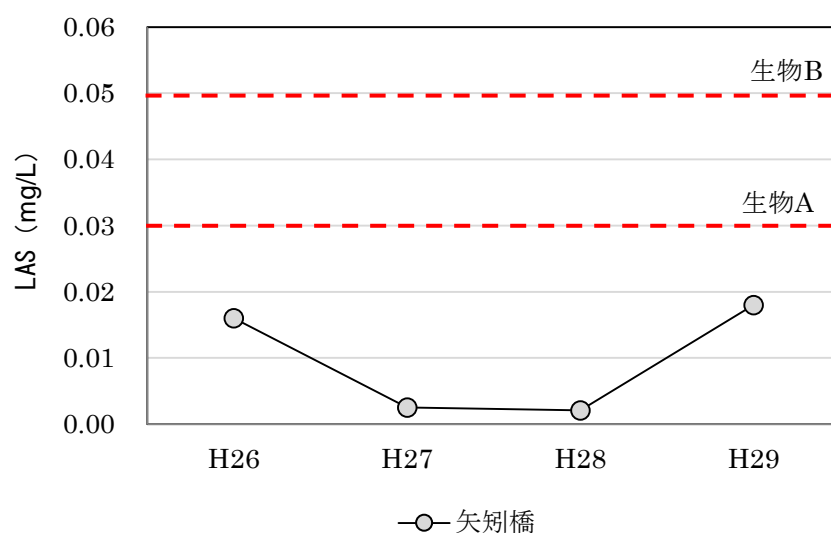


図 1-1-3 LAS の水質測定結果 (矢矧川)



## 1-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表1-2-1に示す。

表 1-2-1 水温測定結果（矢矧川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
矢矧橋	H25	7.8	～	29.0	18.3	12
	H26	9.8	～	24.4	17.3	12
	H27	8.1	～	29.4	17.8	12
	H28	7.8	～	28.6	17.8	12
	H29	6.2	～	29.8	18.5	12
	平均		—		17.9	—

## 1-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図1-3-1に示す。

図1-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域で温水性魚介類の生息が確認された。

## 1-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権の設定はない。

### (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 1-3-1 水生生物の生息状況（矢矧川）

## 2 汐入川

### 2-1 水質

#### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 2-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、平成 29 年度を除き、環境基準を達成している。

表 2-1-1 BOD の水質測定結果 (汐入川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
汐入川 [B]	汐入川橋	H25	0.9	～	3.4	2.7	12	3 以下
		H26	0.9	～	3.7	2.3	12	
		H27	0.6	～	2.8	1.9	12	
		H28	0.9	～	2.8	2.4	12	
		H29	2.1	～	7.1	5.1	12	
		平均		—			2.9	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 2-1-2 及び図 2-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 2-1-2 全亜鉛の水質測定結果（汐入川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
汐入川橋	H25	0.001	～	0.015	0.006	4
	H26	0.003	～	0.007	0.005	4
	H27	0.003	～	0.008	0.005	4
	H28	0.002	～	0.007	0.004	4
	H29	0.001	～	0.008	0.004	4
	平均			—		0.005

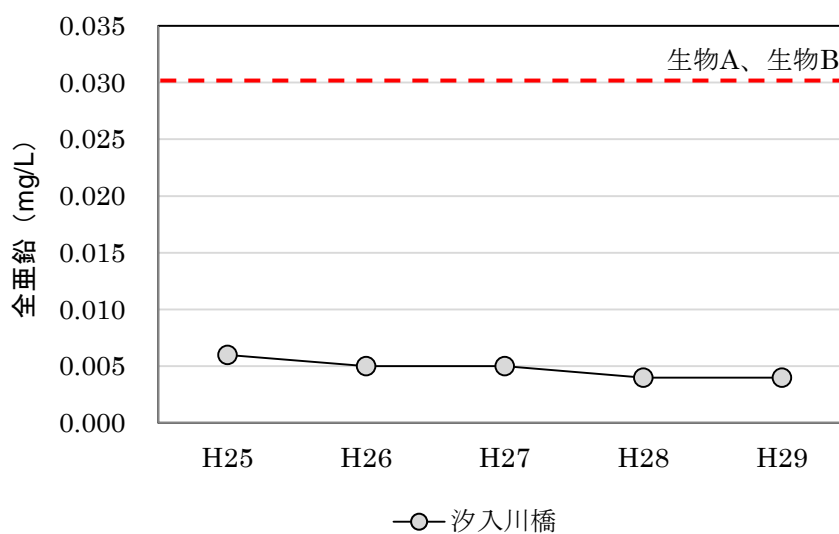


図 2-1-1 全亜鉛の水質測定結果（汐入川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表2-1-3及び図2-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 2-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（汐入川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
汐入川橋	H25	0.00009	～	0.00009	0.00009	1
	H26	<0.00006	～	0.00011	0.00008	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均			—	0.00007	—

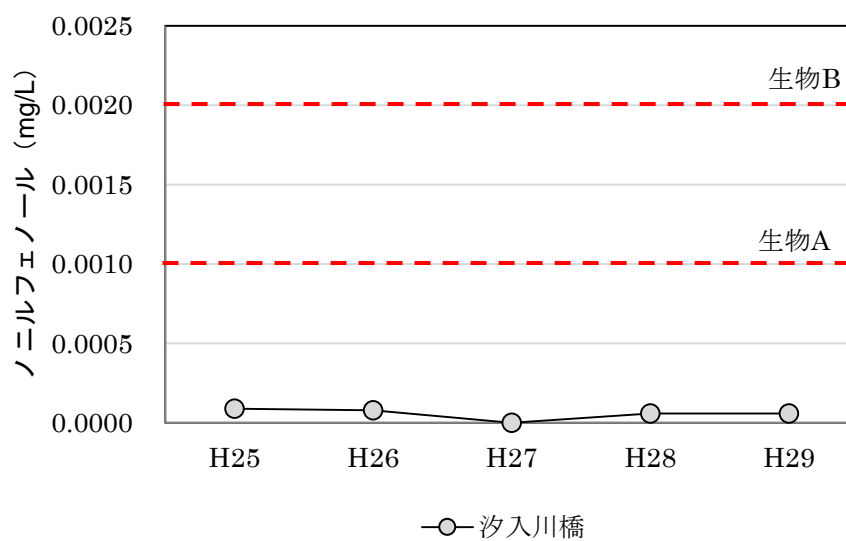


図 2-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（汐入川）

※ 報告下限値未満の値については「0」として表記している。（以下同じ。）

(4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 2-1-4 及び図 2-1-3 に示す。  
 参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類  
 型の環境基準値を下回っていた。

表 2-1-4 LAS の水質測定結果（汐入川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
汐入川橋	H26	0.0020	～	0.011	0.0058	4
	H27	0.0008	～	0.0052	0.0029	4
	H28	<0.0006	～	0.037	0.011	4
	H29	<0.0006	～	0.0055	0.0025	4
	平均	—			0.0056	—

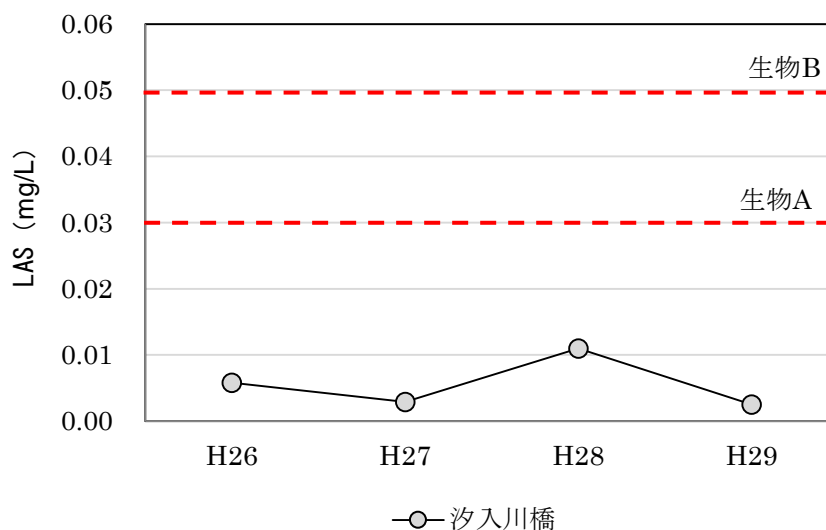


図 2-1-3 LAS の水質測定結果（汐入川）

## 2-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表2-2-1に示す。

表 2-2-1 水温測定結果（汐入川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
汐入川橋	H25	5.8	～	30.2	17.9	12
	H26	7.0	～	24.5	16.3	12
	H27	7.6	～	30.9	16.9	12
	H28	8.5	～	30.7	17.5	12
	H29	4.2	～	29.7	17.8	12
	平均			—	17.3	—

## 2-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図2-3-1に示す。

図2-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、大山口橋（汐井川上流）で温水性魚介類の生息が確認された。

## 2-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権の設定はない。

### (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 2-3-1 水生生物の生息状況（汐入川）



### 3 釣川

#### 3-1 水質

##### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 3-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、各年度ともに全ての地点で環境基準を達成している。

表 3-1-1 BOD の水質測定結果 (釣川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					基準値
			最小	～	最大	75%値	測定回数	
釣川 [B]	多礼橋	H25	<0.5	～	4.2	2.2	12	3 以下
		H26	0.5	～	3.0	1.7	12	
		H27	0.5	～	3.1	1.6	12	
		H28	<0.5	～	6.5	2.3	12	
		H29	0.8	～	6.1	2.6	12	
		平均		—		2.1	—	
	砂山橋	H25	<0.5	～	2.9	2.3	12	
		H26	<0.5	～	2.0	1.3	12	
		H27	0.8	～	2.2	1.7	12	
		H28	0.5	～	2.7	1.2	12	
		H29	0.8	～	2.6	2.2	12	
		平均		—		1.7	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表3-1-2及び図3-1-1に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 3-1-2 全亜鉛の水質測定結果（釣川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
多礼橋	H25	0.004	～	0.015	0.010	4
	H26	0.007	～	0.016	0.011	4
	H27	0.004	～	0.009	0.007	4
	H28	0.004	～	0.012	0.008	4
	H29	0.004	～	0.015	0.008	4
	平均	—			0.009	—
砂山橋	H25	0.003	～	0.022	0.010	4
	H26	0.002	～	0.005	0.003	4
	H27	0.003	～	0.013	0.008	4
	H28	0.003	～	0.012	0.007	4
	H29	0.002	～	0.008	0.006	4
	平均	—			0.007	—

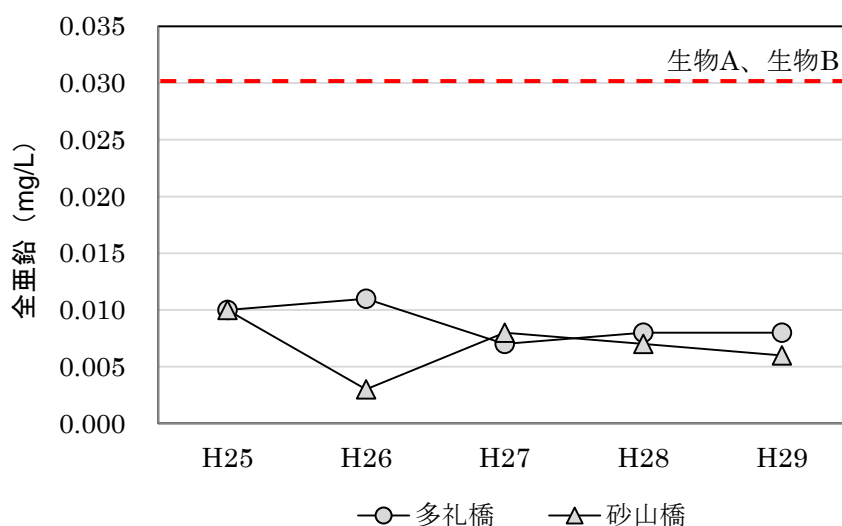


図 3-1-1 全亜鉛の水質測定結果（釣川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表3-1-3及び図3-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表3-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（釣川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
多礼橋	H25	0.00007	～	0.00007	0.00007	1
	H26	<0.00006	～	0.00014	0.00009	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		0.00007	—
砂山橋	H25	0.00007	～	0.00007	0.00007	1
	H26	<0.00006	～	0.00008	0.00007	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

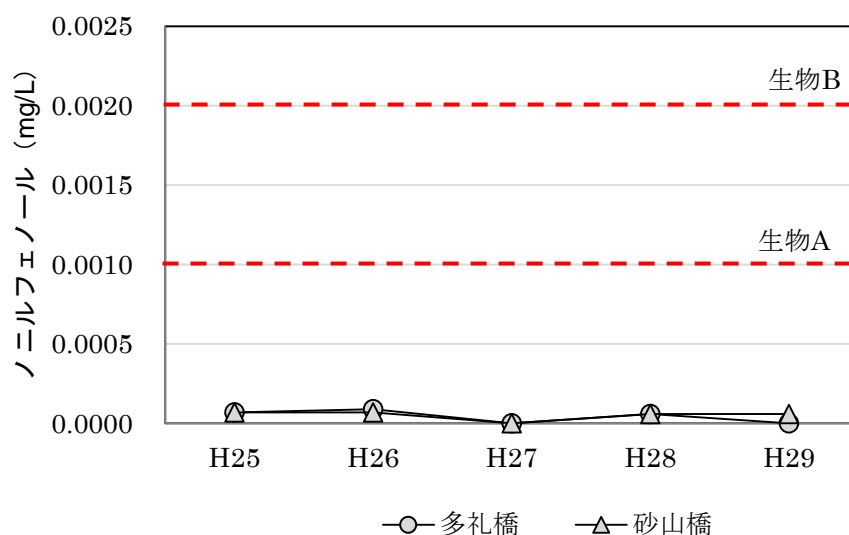


図3-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（釣川）

(4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 3-1-4 及び図 3-1-3 に示す。  
 参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 3-1-4 LAS の水質測定結果 (釣川)

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
多礼橋	H26	0.0037	～	0.017	0.0075	4
	H27	0.0006	～	0.0030	0.0017	4
	H28	<0.0006	～	0.0052	0.0026	4
	H29	0.0009	～	0.0038	0.0018	4
	平均	—			0.0034	—
砂山橋	H26	0.0008	～	0.0043	0.0023	4
	H27	<0.0006	～	0.0014	0.0010	4
	H28	<0.0006	～	0.0047	0.0021	4
	H29	0.0006	～	0.0031	0.0014	4
	平均	—			0.0017	—

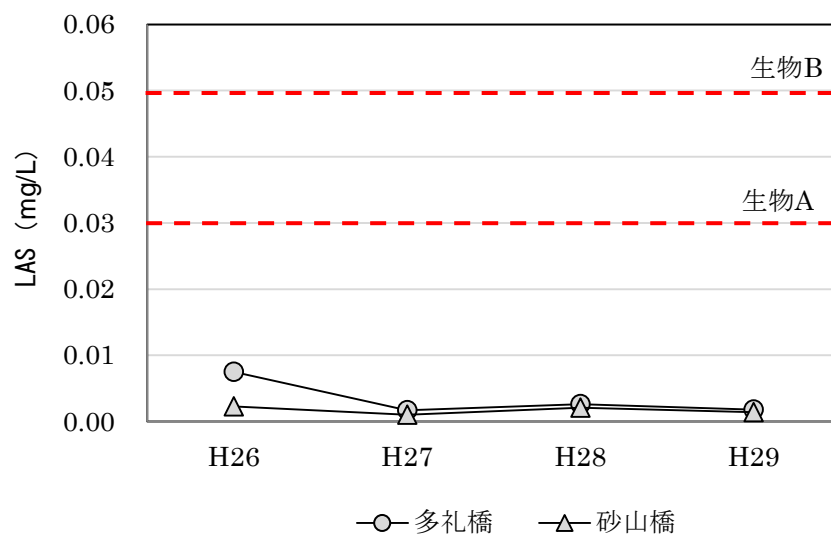


図 3-1-3 LAS の水質測定結果 (釣川)

### 3-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表3-2-1に示す。

表3-2-1 水温測定結果（釣川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
多礼橋	H25	6.6	～	30.6	18.2	12
	H26	6.4	～	25.8	17.2	12
	H27	7.8	～	31.7	18.2	12
	H28	8.0	～	31.8	18.1	12
	H29	4.8	～	32.0	17.9	11
	平均		—		17.9	—
砂山橋	H25	7.5	～	30.5	18.5	12
	H26	6.5	～	25.7	17.3	12
	H27	7.6	～	31.0	18.1	12
	H28	8.1	～	31.7	18.0	12
	H29	5.6	～	31.1	18.4	12
	平均		—		18.1	—

### 3-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図3-3-1に示す。

図3-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、概ね全域で温水性魚介類の生息が確認された。

### 3-4 その他関連事項

(1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権の設定はない。

(2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 3-3-1 水生生物の生息状況（釣川）

## 4 大根川

### 4-1 水質

#### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 4-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、各年度ともに全ての地点で環境基準を達成している。

表 4-1-1 BOD の水質測定結果 (大根川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
大根川上流 [A]	大根川橋	H25	<0.5	～	3.6	1.7	12	2 以下
		H26	<0.5	～	1.4	0.9	12	
		H27	0.5	～	1.4	1.1	12	
		H28	<0.5	～	1.6	0.9	12	
		H29	0.5	～	1.9	1.2	12	
		平均		—		1.2	—	
大根川下流 [B]	花鶴橋	H25	<0.5	～	2.5	1.5	12	3 以下
		H26	<0.5	～	2.0	1.3	12	
		H27	0.7	～	1.9	1.3	12	
		H28	0.5	～	1.9	1.4	12	
		H29	0.7	～	3.4	2.0	12	
		平均		—		1.5	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表4-1-2及び図4-1-1に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表4-1-2 全亜鉛の水質測定結果（大根川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
大根川橋	H25	0.003	～	0.007	0.005	4
	H26	0.003	～	0.009	0.006	4
	H27	0.002	～	0.008	0.006	4
	H28	0.002	～	0.008	0.006	4
	H29	0.001	～	0.011	0.006	4
	平均		—			0.006
花鶴橋	H25	0.003	～	0.026	0.011	4
	H26	0.006	～	0.008	0.007	4
	H27	0.002	～	0.035	0.012	4
	H28	0.003	～	0.007	0.005	4
	H29	0.004	～	0.032	0.013	4
	平均		—			0.010

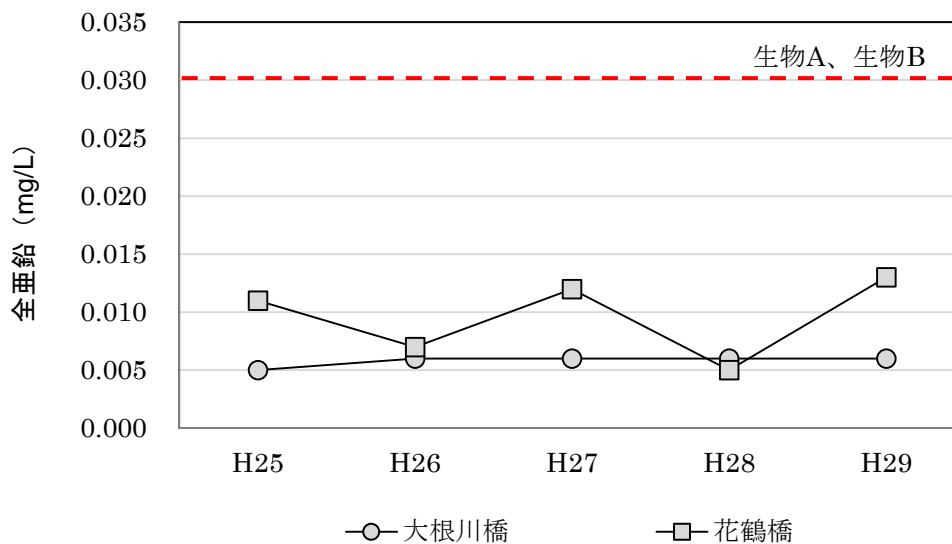


図4-1-1 全亜鉛の水質測定結果（大根川）



(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表4-1-3及び図4-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 4-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（大根川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
大根川橋	H25	0.00007	～	0.00007	0.00007	1
	H26	<0.00006	～	0.00008	0.00007	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
花鶴橋	H25	0.00007	～	0.00007	0.00007	1
	H26	<0.00006	～	0.00017	0.00010	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00007	—

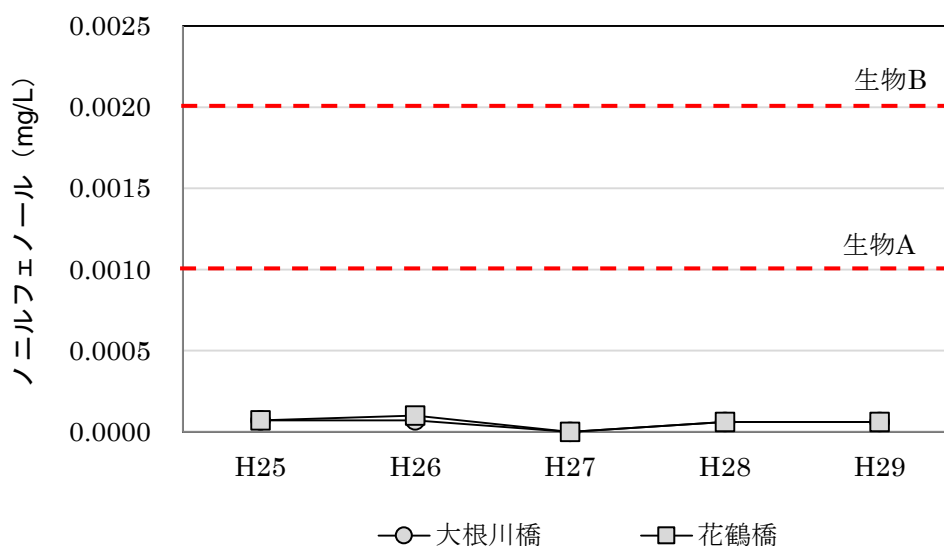


図 4-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（大根川）

(4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 4-1-4 及び図 4-1-3 に示す。  
 参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 4-1-4 LAS の水質測定結果（大根川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
大根川橋	H26	<0.0006	～	0.0062	0.0029	4
	H27	<0.0006	～	0.0045	0.0020	4
	H28	<0.0006	～	0.0023	0.0014	4
	H29	0.0006	～	0.0025	0.0015	4
	平均	—			0.0020	—
花鶴橋	H26	0.0040	～	0.030	0.013	4
	H27	0.0028	～	0.0088	0.0058	4
	H28	<0.0006	～	0.010	0.0061	4
	H29	0.0048	～	0.016	0.0085	4
	平均	—			0.0084	—

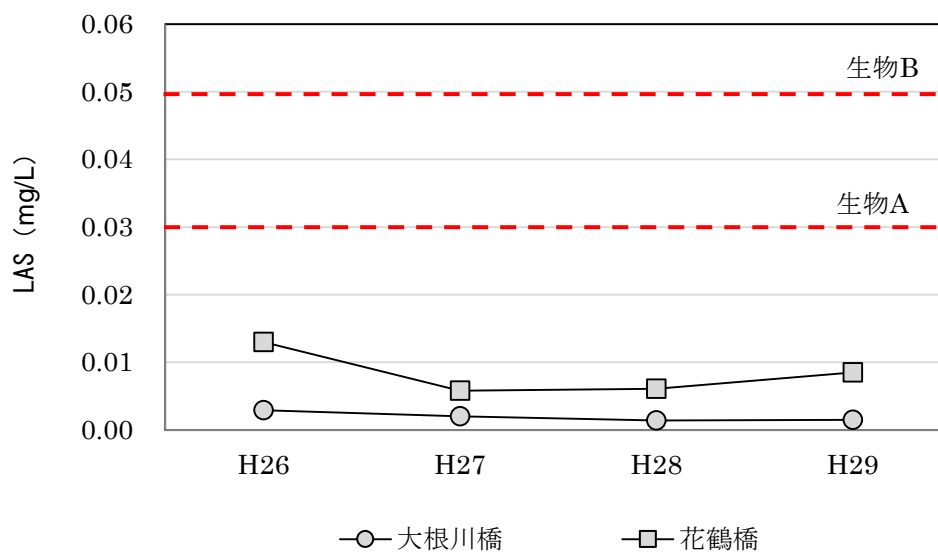


図 4-1-3 LAS の水質測定結果（大根川）

## 4-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表4-2-1に示す。

表 4-2-1 水温測定結果（大根川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
大根川橋	H25	8.0	～	25.3	17.1	12
	H26	8.5	～	23.6	16.4	12
	H27	10.3	～	24.2	17.2	12
	H28	8.8	～	25.4	17.2	12
	H29	6.7	～	26.1	17.1	11
	平均		—		17.0	—
花鶴橋	H25	7.2	～	30.6	18.7	12
	H26	6.9	～	25.4	17.4	12
	H27	8.7	～	30.0	18.0	12
	H28	7.5	～	30.8	18.2	12
	H29	4.7	～	31.7	18.3	11
	平均		—		18.1	—

## 4-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図4-3-1に示す。

図4-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域で温水性魚介類の生息が確認された。

## 4-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権の設定はない。

### (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

図 4-3-1 水生生物の生息状況（大根川）

## 5 桜井川

### 5-1 水質

#### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 5-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、平成 29 年度を除き、環境基準を達成している。

表 5-1-1 BOD の水質測定結果 (桜井川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
桜井川 [A]	汐井橋	H25	0.8	～	3.1	1.4	12	2 以下
		H26	<0.5	～	2.7	1.7	12	
		H27	0.8	～	3.5	1.8	12	
		H28	0.6	～	3.9	1.5	12	
		H29	1.2	～	5.3	2.3	12	
		平均		—			1.7	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表5-1-2及び図5-1-1に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表5-1-2 全亜鉛の水質測定結果（桜井川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
汐井橋	H25	0.002	～	0.007	0.005	4
	H26	0.002	～	0.011	0.005	4
	H27	0.003	～	0.013	0.007	4
	H28	0.003	～	0.010	0.006	4
	H29	0.006	～	0.022	0.013	4
	平均			—		0.007

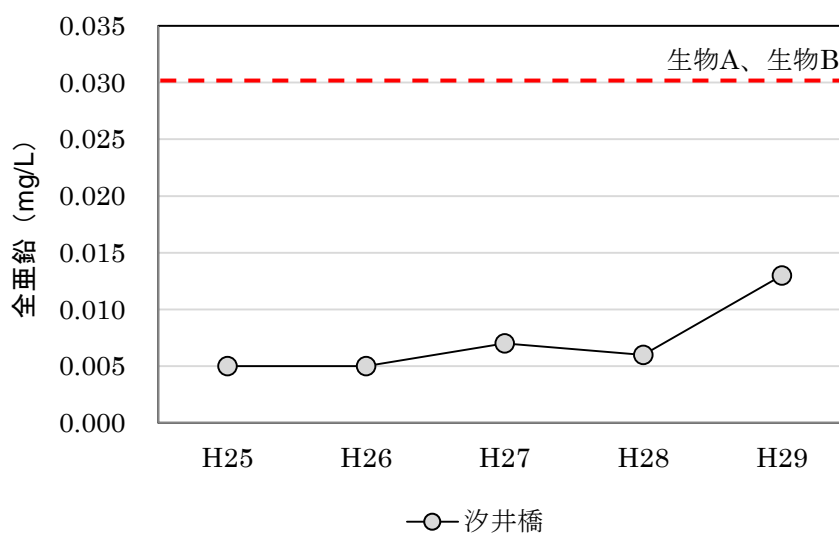


図5-1-1 全亜鉛の水質測定結果（桜井川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表5-1-3及び図5-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 5-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（桜井川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
汐井橋	H25	0.00006	～	0.00006	0.00006	1
	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	<0.00006	～	0.00009	0.00007	4
	平均			—	0.00006	—

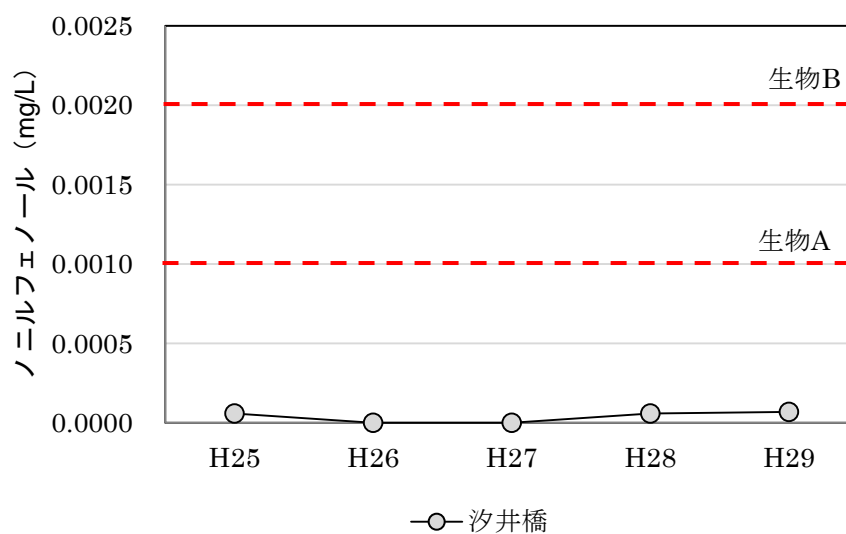


図 5-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（桜井川）

(4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 5-1-4 及び図 5-1-3 に示す。  
 参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類  
 型の環境基準値を下回っていた。

表 5-1-4 LAS の水質測定結果（汐井川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
汐井橋	H26	0.0043	～	0.037	0.021	4
	H27	0.0094	～	0.012	0.011	4
	H28	<0.0006	～	0.050	0.022	4
	H29	0.0049	～	0.021	0.010	4
	平均	—			0.016	—

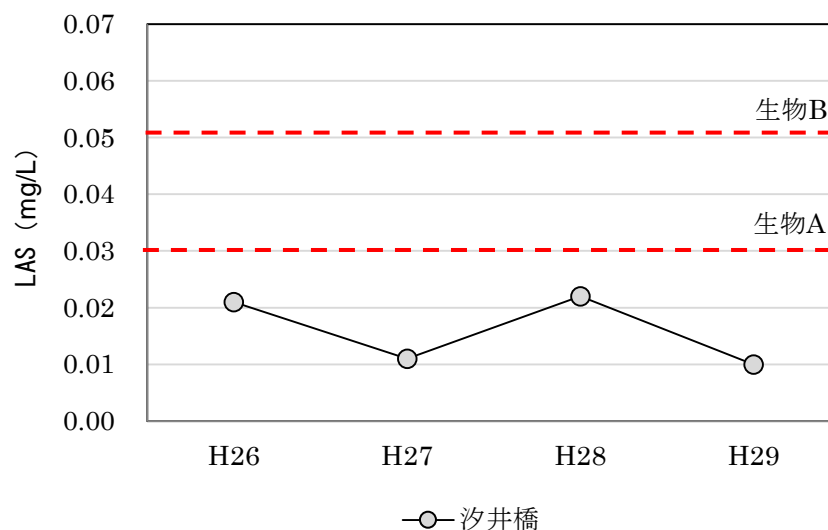


図 5-1-3 LAS の水質測定結果（桜井川）



## 5-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表5-2-1に示す。

表 5-2-1 水温測定結果（桜井川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
汐井橋	H25	6.8	～	30.2	18.6	12
	H26	6.6	～	28.1	17.2	12
	H27	8.6	～	29.5	17.4	12
	H28	6.4	～	30.1	18.1	12
	H29	6.2	～	29.4	18.1	12
	平均			—		17.9

## 5-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図5-3-1に示す。

図5-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、草場（桜井川上流）で温水性魚介類の生息が確認された。

## 5-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権の設定はない。

### (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 5-3-1 水生生物の生息状況（桜井川）

## 6 雷山川

### 6-1 水質

#### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 6-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、各年度ともに環境基準を超過している。

表 6-1-1 BOD の水質測定結果 (雷山川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
雷山川 [A]	加布羅橋	H25	0.5	～	5.2	3.1	12	2 以下
		H26	<0.5	～	3.3	2.7	12	
		H27	0.6	～	3.1	2.3	12	
		H28	0.7	～	5.8	2.5	12	
		H29	2.1	～	9.0	3.4	12	
		平均		—			2.8	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表6-1-2及び図6-1-1に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表6-1-2 全亜鉛の水質測定結果（雷山川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
加布羅橋	H25	0.004	～	0.015	0.009	4
	H26	0.002	～	0.008	0.005	4
	H27	0.003	～	0.012	0.008	4
	H28	0.001	～	0.012	0.007	4
	H29	0.002	～	0.018	0.008	4
	平均			—		0.007

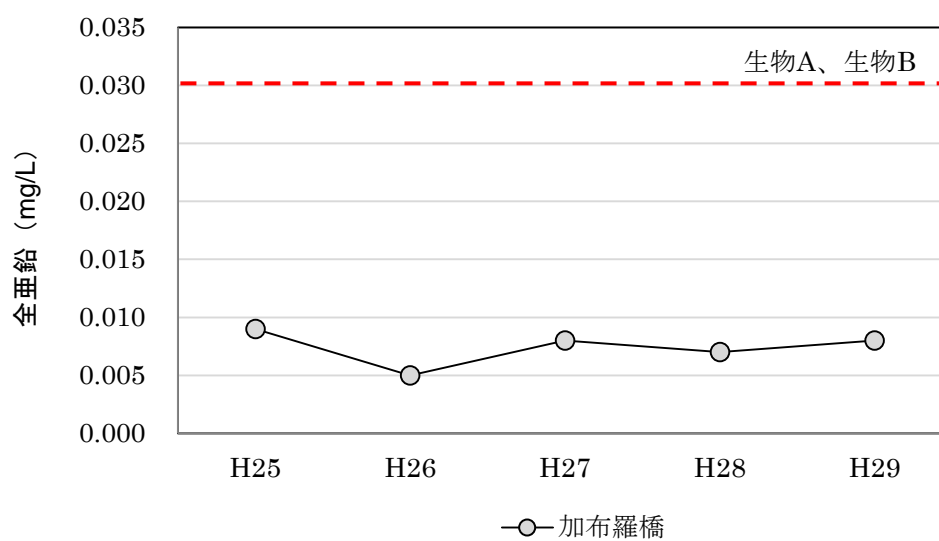


図6-1-1 全亜鉛の水質測定結果（雷山川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去4年間に行われた水質測定結果を表6-1-3及び図6-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 6-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（雷山川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
加布羅橋	H26	<0.00006	～	0.00008	0.00007	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	<0.00006	～	0.00007	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

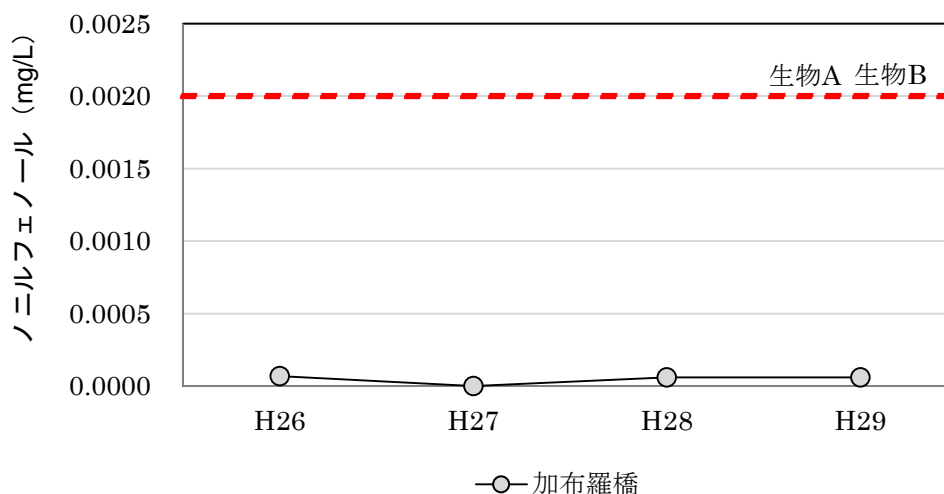


図 6-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（雷山川）

(4) LAS

LAS について過去 4 年間に行われた水質測定結果を表 6-1-4 及び図 6-1-3 に示す。  
 参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類  
 型の環境基準値を下回っていた。

表 6-1-4 LAS の水質測定結果（雷山川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
加布羅橋	H26	0.0026	～	0.011	0.0059	4
	H27	<0.0006	～	0.0027	0.0015	4
	H28	<0.0006	～	0.0022	0.0013	4
	H29	0.0006	～	0.0044	0.0026	4
	平均		—		0.0028	—

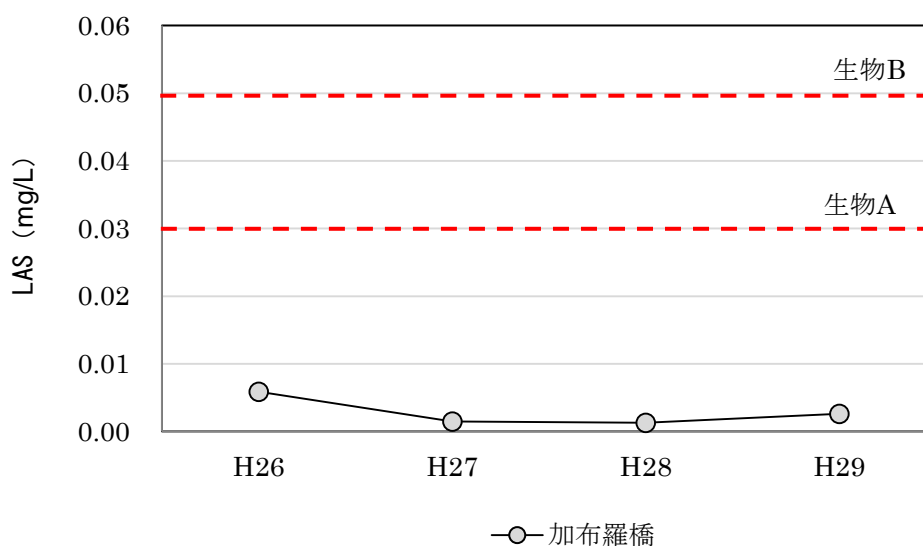


図 6-1-3 LAS の水質測定結果（雷山川）

## 6-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表 8-2-1 に示す。

表 6-2-1 水温測定結果（雷山川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
加布羅橋	H25	5.6	～	30.9	18.1	12
	H26	6.1	～	29.7	17.4	12
	H27	8.8	～	31.2	17.7	12
	H28	7.1	～	32.6	17.9	12
	H29	4.9	～	31.7	18.4	12
	平均			—	17.9	—

## 6-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図 6-3-1 に示す。

図 6-3-1 に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域で温水性魚介類の生息が確認された。

## 6-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権の設定はない。

### (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 6-3-1 水生生物の生息状況（雷山川）



## 7 加茂川

### 7-1 水質

#### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 7-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、各年度ともに環境基準を達成している。

表 7-1-1 BOD の水質測定結果 (加茂川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
加茂川 [A]	佐波橋	H25	<0.5	～	1.4	1.0	12	2 以下
		H26	<0.5	～	2.0	1.3	12	
		H27	<0.5	～	2.4	1.1	12	
		H28	<0.5	～	3.2	1.0	12	
		H29	0.5	～	2.0	1.4	12	
		平均		—			1.2	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表7-1-2及び図7-1-1に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表7-1-2 全亜鉛の水質測定結果（加茂川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
佐波橋	H25	0.001	～	0.004	0.002	4
	H26	0.001	～	0.003	0.002	4
	H27	0.002	～	0.007	0.005	4
	H28	0.001	～	0.006	0.003	4
	H29	<0.001	～	0.003	0.002	4
	平均			—	0.003	—

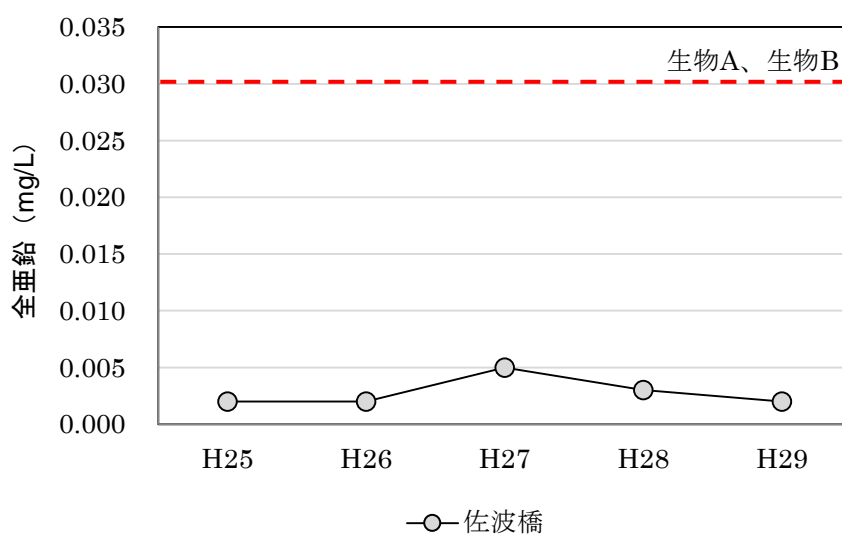


図7-1-1 全亜鉛の水質測定結果（加茂川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表7-1-3及び図7-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 7-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（加茂川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
佐波橋	H25	0.00006	～	0.00006	0.00006	1
	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均			—	0.00006	—

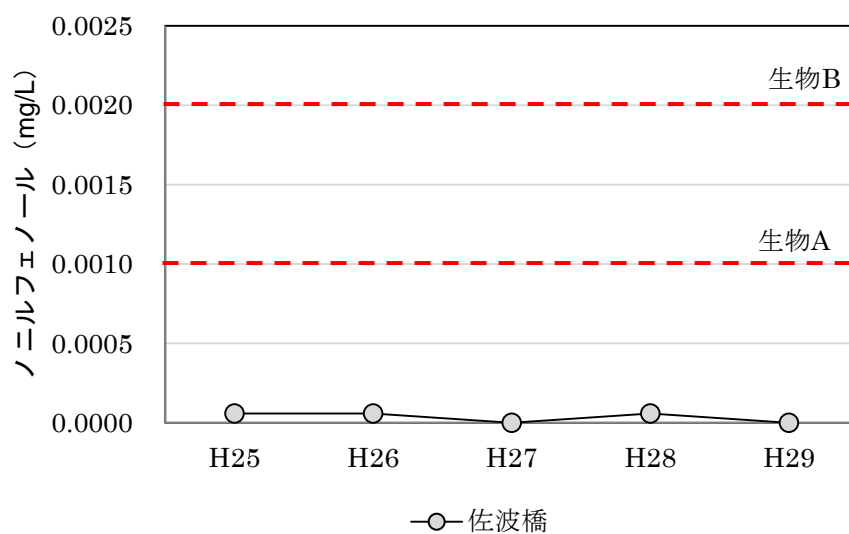


図 7-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（加茂川）

(4) LAS

LAS について過去 4 年間に行われた水質測定結果を表 7-1-4 及び図 7-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、平成 27 年度のみ生物 A 類型を上回り、生物 B 類型を下回ったが、その他の年度では生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 7-1-4 LAS の水質測定結果（加茂川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
佐波橋	H26	<0.0006	～	0.040	0.011	4
	H27	<0.0006	～	0.19	0.049	4
	H28	<0.0006	～	0.0023	0.0014	4
	H29	0.0008	～	0.0051	0.0023	4
	平均		—		0.016	—

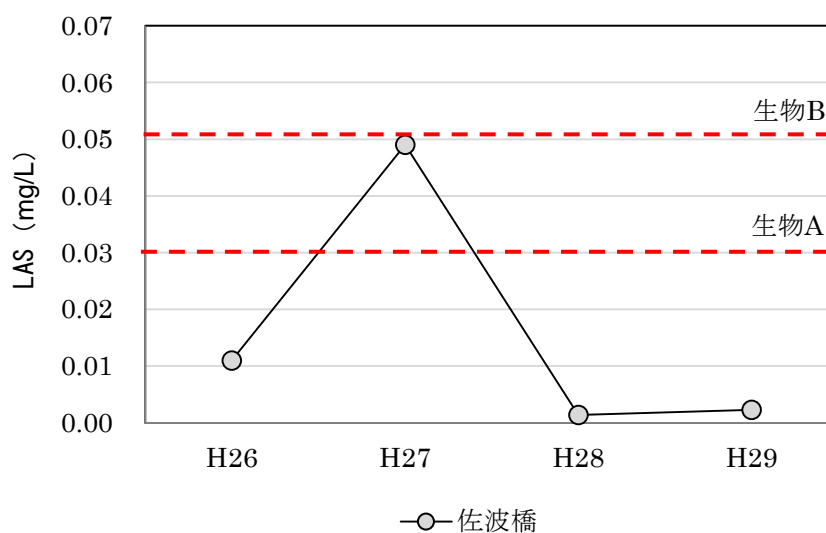


図 7-1-3 LAS の水質測定結果（加茂川）

## 7-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表7-2-1に示す。

表 7-2-1 水温測定結果（加茂川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
佐波橋	H25	7.3	～	26.7	16.6	12
	H26	5.6	～	26.2	15.6	12
	H27	8.7	～	26.3	16.2	12
	H28	7.1	～	24.7	16.1	12
	H29	5.7	～	26.6	16.1	12
	平均			—	16.1	—

## 7-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図7-3-1に示す。

図7-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、一方新橋（加茂川中流）で温水性魚介類の生息が確認された。

## 7-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権の設定はない。

### (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シロウオの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 7-3-1 水生生物の生息状況（加茂川）

## 8 福吉川

### 8-1 水質

#### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 8-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、各年度ともに環境基準を達成している。

表 8-1-1 BOD の水質測定結果 (福吉川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
福吉川 [A]	福吉橋	H25	0.7	～	2.4	1.6	12	2 以下
		H26	<0.5	～	2.6	1.4	12	
		H27	<0.5	～	2.6	1.6	12	
		H28	<0.5	～	2.9	1.1	12	
		H29	0.8	～	3.2	2.0	12	
		平均	—	—	—	—	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 8-1-2 及び図 8-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 8-1-2 全亜鉛の水質測定結果（福吉川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
福吉橋	H25	0.001	～	0.003	0.002	4
	H26	<0.001	～	0.003	0.002	4
	H27	0.002	～	0.013	0.006	4
	H28	0.001	～	0.004	0.003	4
	H29	0.003	～	0.012	0.007	4
	平均			—		0.004

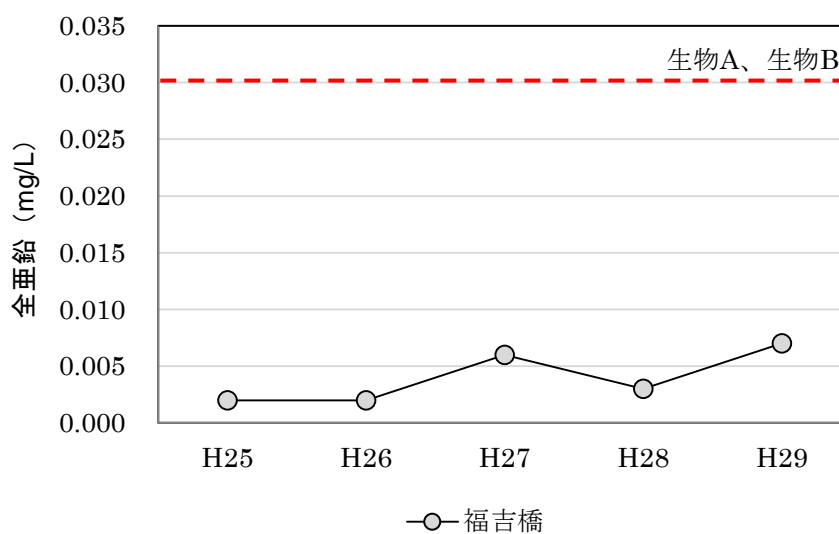


図 8-1-1 全亜鉛の水質測定結果（福吉川）



(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表8-1-3及び図8-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 8-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（福吉川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
福吉橋	H25	0.00006	～	0.00006	0.00006	1
	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均			—		0.00006

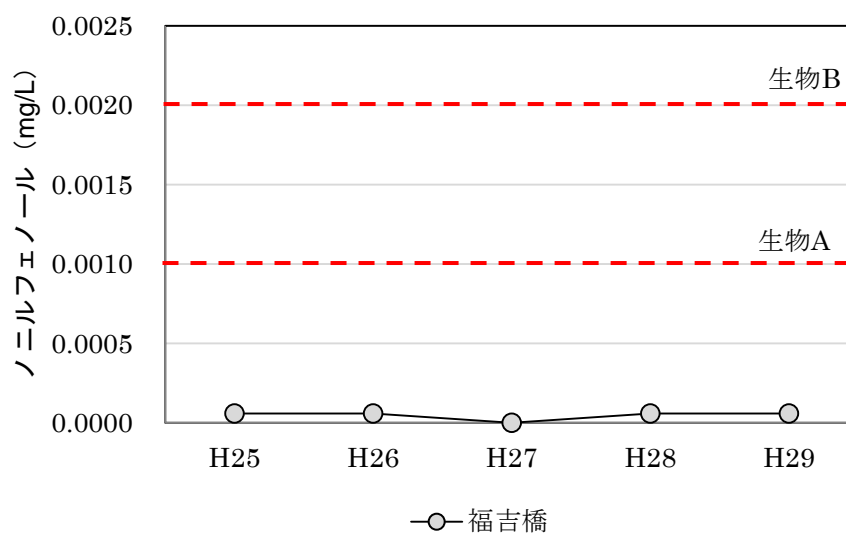


図 8-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（福吉川）

(4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 8-1-4 及び図 8-1-3 に示す。  
 参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類  
 型の環境基準値を下回っていた。

表 8-1-4 LAS の水質測定結果 (福吉川)

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
福吉橋	H26	0.0051	～	0.019	0.010	4
	H27	0.0018	～	0.0042	0.0029	4
	H28	<0.0006	～	0.0037	0.0024	4
	H29	0.0020	～	0.0087	0.0057	4
	平均	—			0.0053	—

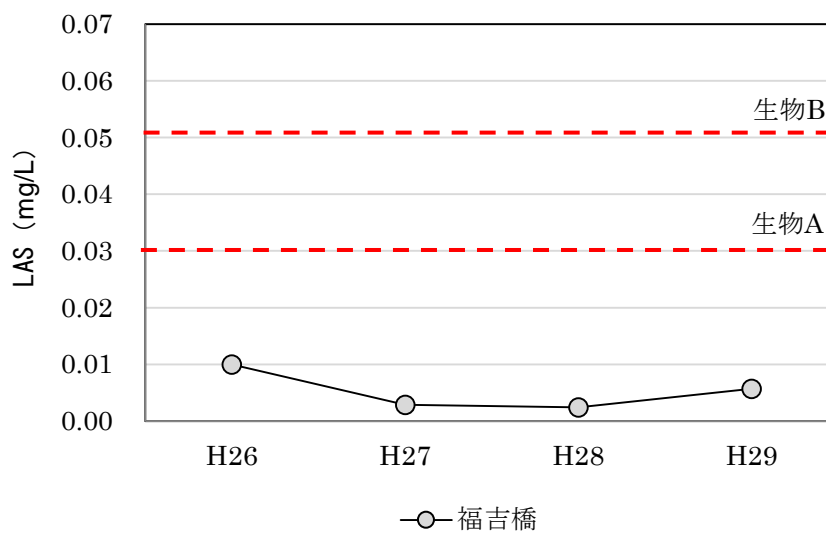


図 8-1-3 LAS の水質測定結果 (福吉川)

## 8-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表8-2-1に示す。

表 8-2-1 水温測定結果（福吉川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
福吉橋	H25	8.0	～	27.1	17.8	12
	H26	7.2	～	27.4	16.6	12
	H27	9.8	～	26.8	16.7	12
	H28	8.2	～	24.8	17.0	12
	H29	6.4	～	28.2	17.2	12
	平均			—	17.1	—

## 8-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図8-3-1に示す。

図8-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、中村（福吉川上流）で温水性魚介類の生息が確認された。

## 8-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権が設定されていない。

### (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シロウオの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 8-3-1 水生生物の生息状況（福吉川）

## 9 矢部川及び日向神ダム

### 9-1 水質

#### (1) BOD (矢部川)

BODについて過去5年間に行われた水質測定結果を表9-1-1に示す。

なお、釜屋橋は、当該地点付近（四方堂）から上流において冷水性魚介類の生息が確認されたことから、平成29年度に補足調査を実施した地点である。

BOD（75%値）は、各年度ともに全ての地点で環境基準を達成している。

表9-1-1 BODの水質測定結果（矢部川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
矢部川上流 [A]	上矢部川橋	H25	0.5	～	2.0	1.4	12	2 以下
		H26	0.6	～	2.3	1.5	12	
		H27	<0.5	～	3.4	1.7	12	
		H28	0.8	～	4.6	2.0	12	
		H29	0.7	～	1.6	1.5	12	
		平均		—		1.6	—	
矢部川中流 [A]	船小屋	H25	<0.5	～	1.2	0.9	12	2 以下
		H26	<0.5	～	0.9	0.6	12	
		H27	<0.5	～	0.7	<0.5	12	
		H28	<0.5	～	0.6	0.5	12	
		H29	<0.5	～	0.9	0.6	12	
		平均		—		0.6	—	
矢部川下流 [B]	浦島橋	H25	0.9	～	2.5	1.5	12	3 以下
		H26	<0.5	～	2.0	1.0	12	
		H27	<0.5	～	1.5	1.0	12	
		H28	<0.5	～	1.5	0.9	12	
		H29	<0.5	～	1.7	1.2	12	
		平均		—		1.1	—	
矢部川上流 [A]	釜屋橋	H29	0.7	～	2.2	1.3	4	2 以下

(2) COD（日向神ダム）

CODについて過去5年間に行われた水質測定結果を表9-1-2に示す。

COD（75%値）は、平成26年度及び平成27年度を除き、環境基準を達成している。

表9-1-2 CODの水質測定結果（日向神ダム）

水域名 [類型]	調査地点	年度	COD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
矢部川 日向神ダム [湖沼A]	ダムサイト	H25	<0.5	～	7.8	2.8	36	3以下
		H26	1.2	～	8.5	3.7	36	
		H27	0.6	～	8.2	3.1	36	
		H28	1.0	～	7.4	2.2	36	
		H29	1.1	～	6.4	2.5	36	
		平均	—	—	—	2.9	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表9-1-3及び表9-1-4並びに図9-1-1及び図9-1-2に示す。

なお、釜屋橋は、当該地点付近（四方堂）から上流において冷水性魚介類の生息が確認されたことから、平成29年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表9-1-3 全亜鉛の水質測定結果（矢部川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
上矢部川橋	H25	<0.001	～	0.003	0.002	4
	H26	<0.001	～	0.005	0.002	4
	H27	0.001	～	0.003	0.002	4
	H28	<0.001	～	0.007	0.004	4
	H29	0.001	～	0.003	0.002	4
	平均		—		0.002	—
船小屋	H25	<0.001	～	0.002	0.002	4
	H26	<0.001	～	0.001	0.001	4
	H27	<0.001	～	0.001	0.001	4
	H28	<0.001	～	0.001	0.001	4
	H29	0.001	～	0.004	0.002	4
	平均		—		0.001	—
浦島橋	H25	0.006	～	0.014	0.010	2
	H26	0.005	～	0.011	0.008	2
	H27	0.002	～	0.007	0.005	2
	H28	0.004	～	0.016	0.010	2
	H29	0.004	～	0.011	0.008	2
	平均		—		0.008	—
釜屋橋	H29	<0.001	～	0.016	0.006	4

表9-1-4 全亜鉛の水質測定結果（日向神ダム）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
ダムサイト	H25	<0.001	～	0.011	0.005	12
	H26	<0.001	～	0.014	0.006	12
	H27	0.001	～	0.016	0.008	12
	H28	<0.001	～	0.011	0.005	12
	H29	<0.001	～	0.009	0.004	12
	平均		—		0.006	—

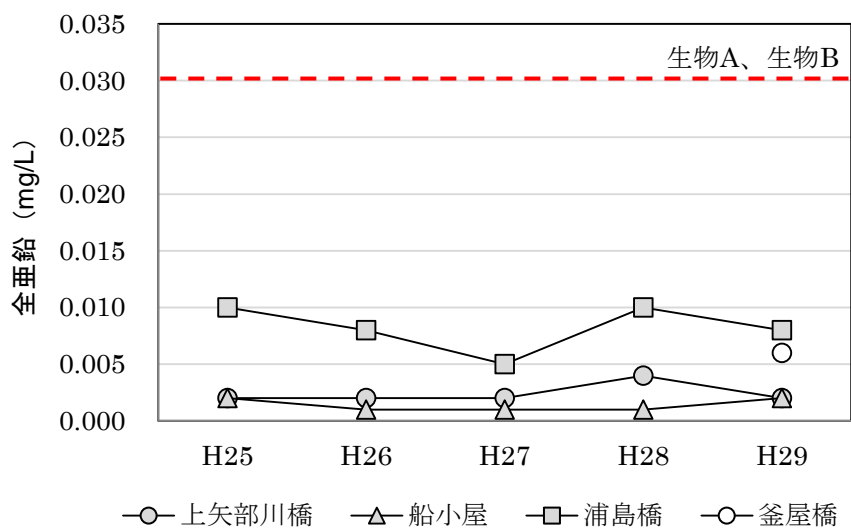


図 9-1-1 全亜鉛の水質測定結果 (矢部川)

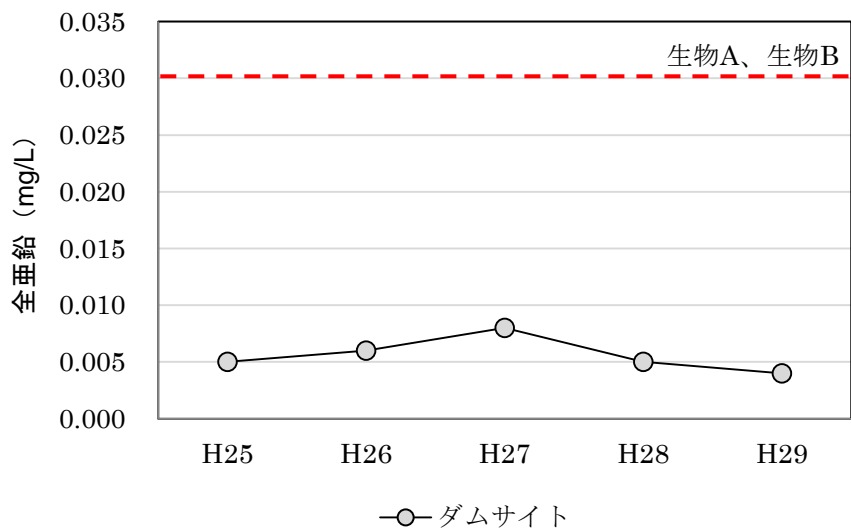


図 9-1-2 全亜鉛の水質測定結果 (日向神ダム)



(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表9-1-5及び表9-1-6並びに図9-1-3及び図9-1-4に示す。

なお、釜屋橋は、当該地点付近（四方堂）から上流において冷水性魚介類の生息が確認されたことから、平成29年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表9-1-5 ノニルフェノールの水質測定結果（矢部川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
上矢部川橋	H25	0.00007	～	0.00007	0.00007	1
	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00010	0.00007	4
	H29	0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
船小屋	H25	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H29	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
浦島橋	H25	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H29	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
釜屋橋	H29	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4

表9-1-6 ノニルフェノールの水質測定結果（日向神ダム）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
ダムサイト	H25	0.00006	～	0.00006	0.00006	3
	H26	<0.00006	～	0.00014	0.00007	12
	H27	<0.00006	～	0.00006	0.00006	12
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	12
	H29	<0.00006	～	0.00006	0.00006	12
	平均		—		0.00006	—

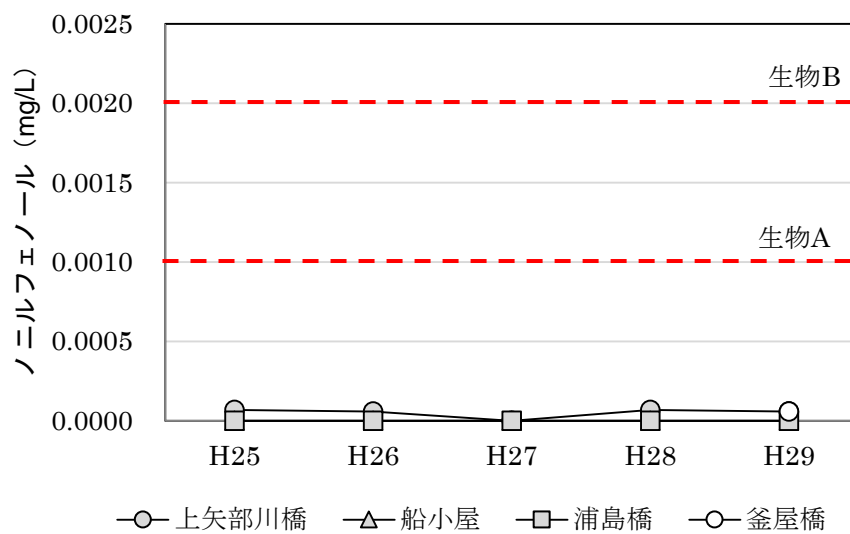


図 9-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（矢部川）

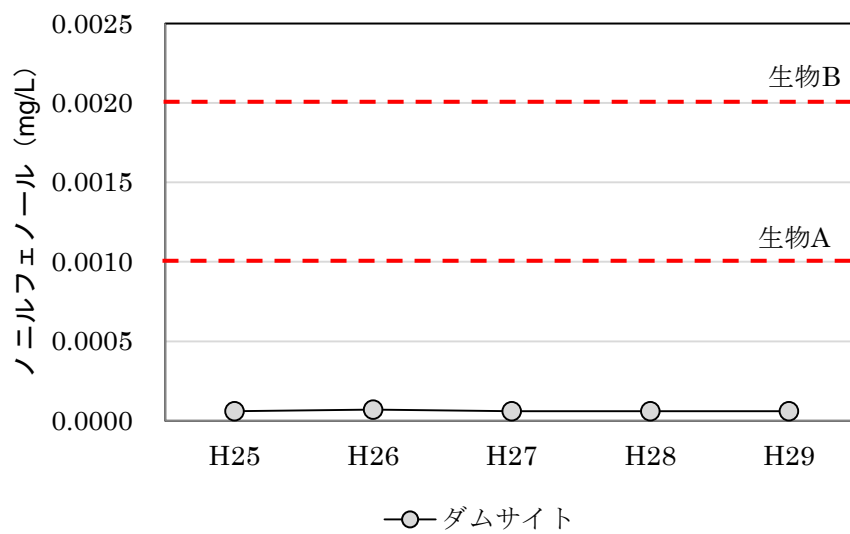


図 9-1-4 ノニルフェノールの水質測定結果（日向神ダム）

(4) LAS

LASについて過去4年間に行われた水質測定結果を表9-1-7及び表9-1-8並びに図9-1-5及び図9-1-6に示す。

なお、釜屋橋は、当該地点付近（四方堂）から上流において冷水性魚介類の生息が確認されたことから、平成29年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表9-1-7 LASの水質測定結果（矢部川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
上矢部川橋	H26	0.0006	～	0.011	0.0051	4
	H27	<0.0006	～	0.012	0.0040	4
	H28	<0.0006	～	0.0007	0.0006	4
	H29	0.0006	～	0.0017	0.0009	4
	平均		—		0.0027	—
船小屋	H26	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	1
	H27	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	1
	H28	<0.0006	～	0.0007	0.0006	4
	H29	<0.0006	～	0.0010	0.0007	4
	平均		—		0.0006	—
浦島橋	H26	0.0009	～	0.0009	0.0009	1
	H27	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	1
	H28	<0.0006	～	0.0014	0.0010	4
	H29	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	4
	平均		—		0.0008	—
釜屋橋	H29	0.0007	～	0.0013	0.0010	4

表9-1-8 LASの水質測定結果（日向神ダム）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
ダムサイト	H26	<0.0006	～	0.025	0.0067	12
	H27	<0.0006	～	0.0034	0.0010	12
	H28	<0.0006	～	0.010	0.0025	12
	H29	0.0006	～	0.0022	0.0010	12
	平均		—		0.0028	—

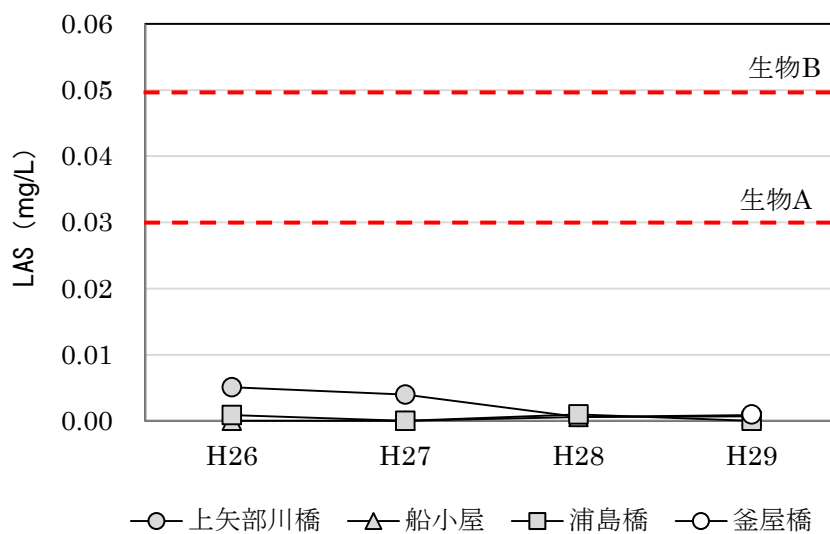


図 9-1-5 LAS の水質測定結果 (矢部川)

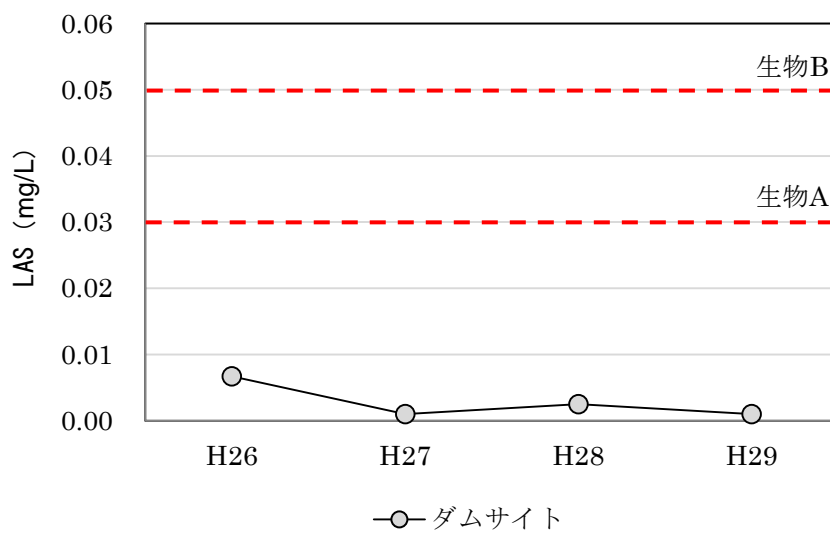


図 9-1-6 LAS の水質測定結果 (日向神ダム)

## 9-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表9-2-1及び表9-2-2に示す。

なお、釜屋橋は、当該地点付近（四方堂）から上流において冷水性魚介類の生息が確認されたことから、平成29年度に補足調査を実施した地点である。

表9-2-1 水温測定結果（矢部川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
上矢部川橋	H25	6.8	～	24.5	15.2	12
	H26	7.7	～	22.0	15.1	12
	H27	7.7	～	24.2	15.2	12
	H28	7.7	～	26.6	16.3	12
	H29	4.7	～	28.0	15.8	12
	平均		—		15.5	—
船小屋	H25	7.2	～	27.5	17.1	12
	H26	6.0	～	26.1	15.6	12
	H27	6.1	～	27.2	16.3	12
	H28	8.5	～	27.5	17.6	12
	H29	4.4	～	27.8	16.9	12
	平均		—		16.7	—
浦島橋	H25	6.3	～	30.4	17.6	12
	H26	6.0	～	29.0	15.7	12
	H27	6.0	～	29.8	17.1	12
	H28	6.0	～	29.2	18.1	12
	H29	3.5	～	30.8	18.0	12
	平均		—		17.3	—
釜屋橋	H29	6.6	～	23.0	16.6	4

表9-2-2 水温測定結果（日向神ダム）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
ダムサイト	H25	6.5	～	27.6	18.0	12
	H26	7.4	～	28.2	17.2	12
	H27	8.5	～	28.1	18.1	12
	H28	8.0	～	28.7	18.2	12
	H29	6.4	～	28.7	17.0	12
	平均		—		17.7	—

### 9-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図 9-3-1 に示す。

図 9-3-1 に示すとおり、上矢部川橋付近（四方堂）から馬渡橋（矢部川中流域）で冷水性魚介類の生息が確認された。また、全域で温水性魚介類の生息が確認された。

### 9-4 その他関連事項

#### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水第 1 号共同漁業権及び内区第 1 号区画漁業権が設定されており、矢部川漁業協同組合が免許を取得している。

#### (2) 水産動物の放流状況

矢部川漁業協同組合による放流が行われ、ヤマメが放流されている。

#### (3) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 9-3-1 水生生物の生息状況（矢部川）

## 10 星野川

### 10-1 水質

#### (1) BOD

BODについて過去5年間に行われた水質測定結果を表10-1-1に示す。

なお、現原橋は、星野川全域で冷水性魚介類の生息が確認されたことから、平成29年度に補足調査を実施した地点である。

BOD（75%値）は、各年度ともに全ての地点で環境基準を達成している。

表 10-1-1 BODの水質測定結果（星野川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
星野川 [A]	星野川橋	H25	0.5	～	2.3	1.4	12	2 以下
		H26	0.6	～	3.0	1.8	12	
		H27	<0.5	～	3.9	2.0	12	
		H28	0.7	～	3.8	1.8	12	
		H29	0.6	～	2.0	1.2	12	
		平均		—		1.6	—	
	現原橋	H29	<0.5	～	2.1	1.1	4	



(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 10-1-2 及び図 10-1-1 に示す。

なお、現原橋は、星野川全域で冷水性魚介類の生息が確認されたことから、平成 29 年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 10-1-2 全亜鉛の水質測定結果（星野川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
星野川橋	H25	0.001	～	0.005	0.002	4
	H26	0.002	～	0.012	0.006	4
	H27	0.001	～	0.002	0.002	4
	H28	0.002	～	0.008	0.004	4
	H29	<0.001	～	0.002	0.001	4
	平均		—		0.003	—
現原橋	H29	0.001	～	0.011	0.004	4

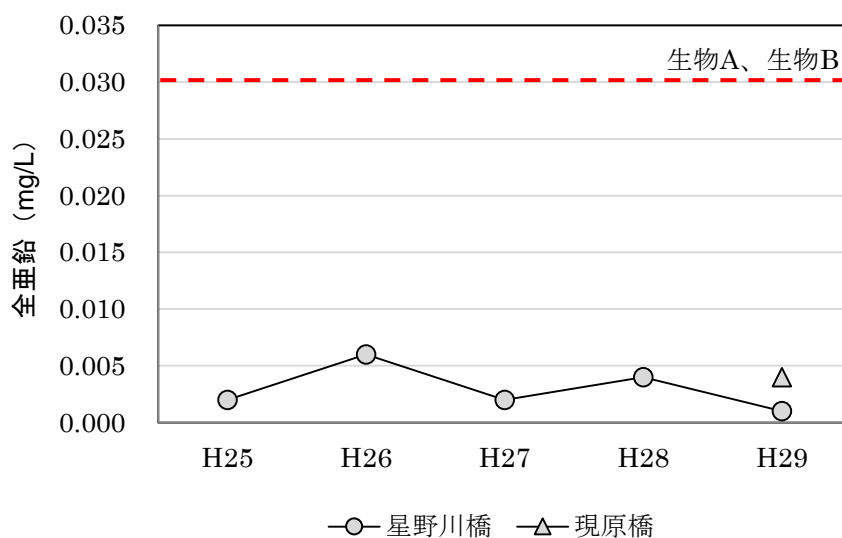


図 10-1-1 全亜鉛の水質測定結果（星野川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表10-1-3及び図10-1-2に示す。

なお、現原橋は、星野川全域で冷水性魚介類の生息が確認されたことから、平成29年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 10-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（星野川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
星野川橋	H25	0.00006	～	0.00006	0.00006	1
	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00009	0.00007	4
	H29	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均			—	0.00006	—
現原橋	H29	<0.00006	～	0.00010	0.00007	4

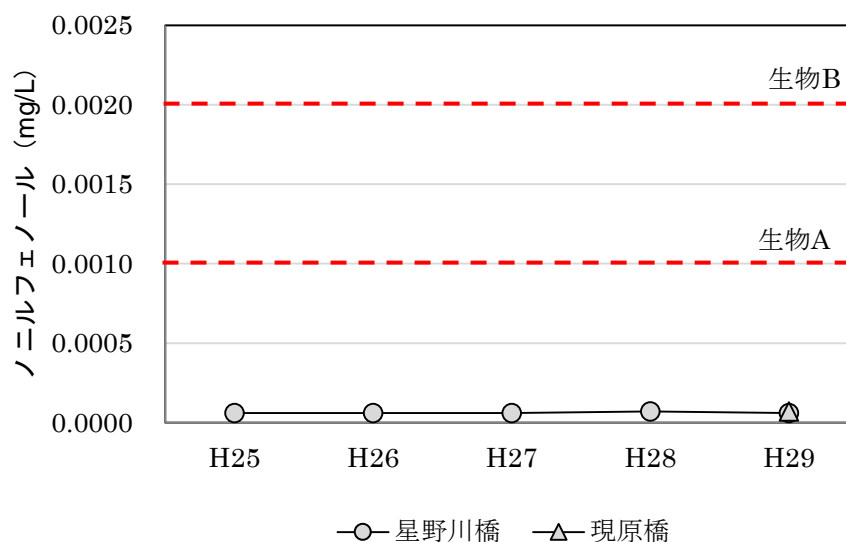


図 10-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（星野川）

#### (4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 10-1-4 及び図 10-1-3 に示す。

なお、現原橋は、星野川全域で冷水性魚介類の生息が確認されたことから、平成 29 年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 10-1-4 LAS の水質測定結果（星野川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
星野川橋	H26	0.0006	～	0.016	0.0062	4
	H27	<0.0006	～	0.0026	0.0013	4
	H28	<0.0006	～	0.0035	0.0014	4
	H29	0.0006	～	0.0032	0.0016	4
	平均		—		0.0026	—
現原橋	H29	0.0009	～	0.0014	0.0017	4

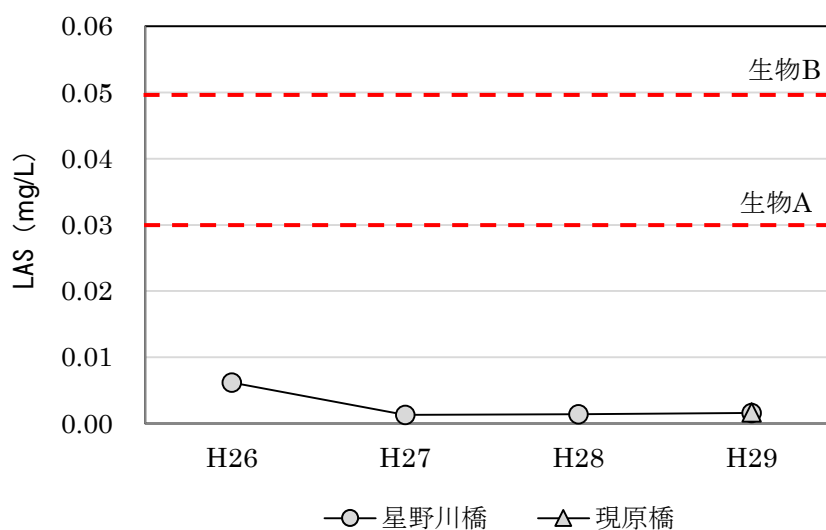


図 10-1-3 LAS の水質測定結果（星野川）

## 10-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表10-2-1に示す。

なお、現原橋は、星野川全域で冷水性魚介類の生息が確認されたことから、平成29年度に補足調査を実施した地点である。

表 10-2-1 水温測定結果（星野川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
星野川橋	H25	6.2	～	26.1	15.9	12
	H26	7.8	～	24.7	15.8	12
	H27	7.6	～	26.3	15.7	12
	H28	7.8	～	29.8	16.5	12
	H29	4.3	～	26.5	16.3	12
	平均		—		16.0	—
現原橋	H29	5.9	～	23.5	16.9	4

## 10-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図10-3-1に示す。

図10-3-1に示すとおり、全域で冷水性及び温水性魚介類の生息が確認された。

## 10-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水第1号共同漁業権が設定されており、矢部川漁業協同組合が免許を取得している。

### (2) 水産動物の放流状況

矢部川漁業協同組合による放流が行われ、ヤマメが放流されている。

### (3) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

水産動植物採捕の許可による採捕は行われていない。

図 10-3-1 水生生物の生息状況（星野川）

## 1 1 辺春川

### 11-1 水質

#### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 11-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、平成 29 年度のみ環境基準を達成している。

表 11-1-1 BOD の水質測定結果 (辺春川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
辺春川 [A]	中通橋	H25	1.0	～	8.7	4.8	12	2 以下
		H26	<0.5	～	5.2	2.8	12	
		H27	<0.5	～	4.3	2.5	12	
		H28	0.8	～	3.8	3.0	12	
		H29	1.1	～	2.7	1.9	12	
		平均		—			3.0	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 11-1-2 及び図 11-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 11-1-2 全亜鉛の水質測定結果（辺春川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
中通橋	H25	0.001	～	0.003	0.002	4
	H26	0.001	～	0.004	0.003	4
	H27	0.001	～	0.003	0.002	4
	H28	0.001	～	0.003	0.002	4
	H29	0.001	～	0.008	0.003	4
	平均			—		0.002

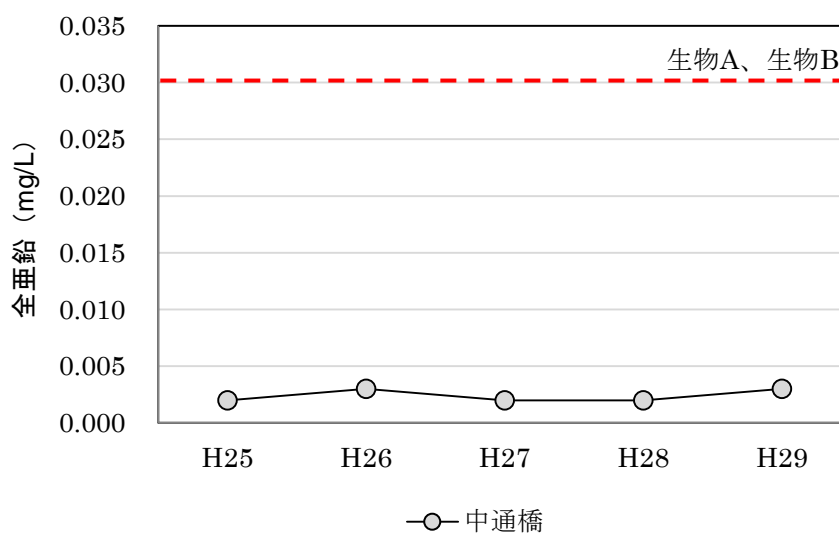


図 11-1-1 全亜鉛の水質測定結果（辺春川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表 11-1-3 及び図 11-1-2 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 11-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（辺春川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
中通橋	H25	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H26	<0.00006	～	0.00007	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均			—	0.00006	—

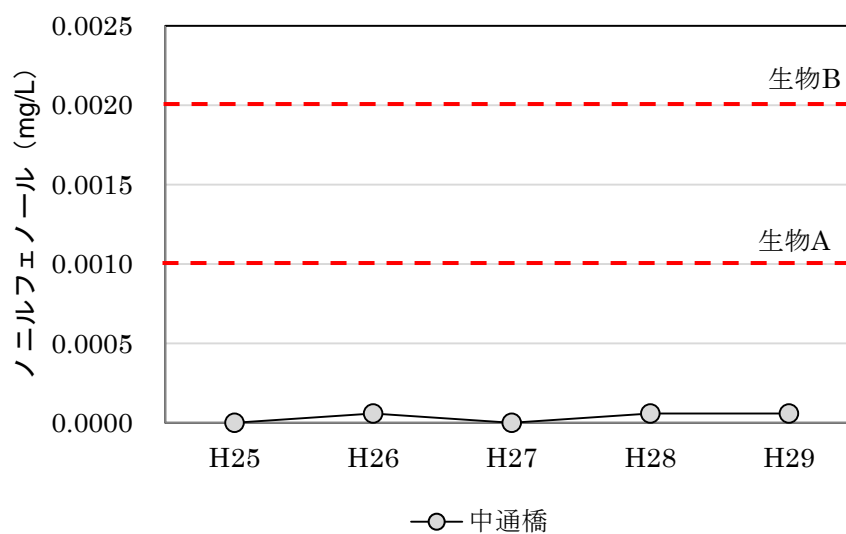


図 11-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（辺春川）



(4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 11-1-4 及び図 11-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 11-1-4 LAS の水質測定結果（辺春川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
中通橋	H26	0.0064	～	0.052	0.021	4
	H27	0.0024	～	0.0045	0.0034	4
	H28	<0.0006	～	0.0050	0.0030	4
	H29	0.0021	～	0.013	0.0061	4
	平均	—			0.0084	—

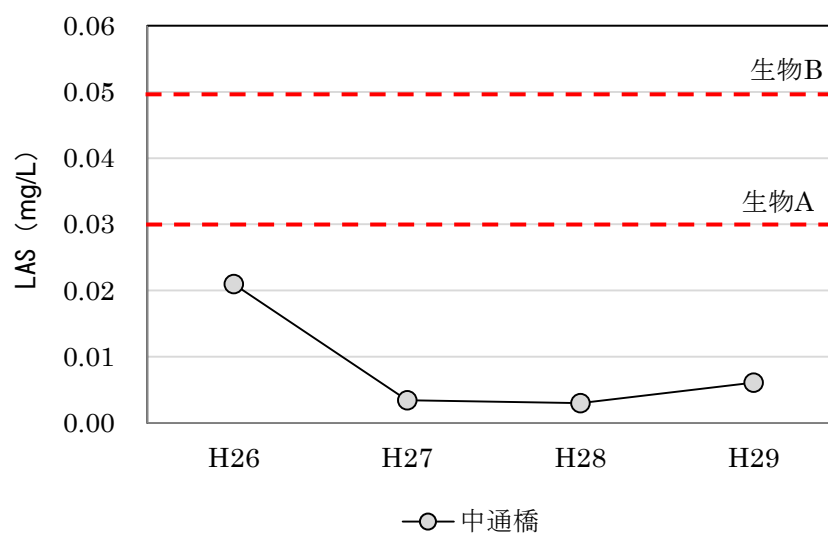


図 11-1-3 LAS の水質測定結果（辺春川）

## 11-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表11-2-1に示す。

表 11-2-1 水温測定結果（辺春川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
中通橋	H25	7.2	～	26.6	16.5	12
	H26	8.4	～	25.3	16.5	12
	H27	8.4	～	26.6	16.0	12
	H28	8.4	～	29.1	17.1	12
	H29	4.8	～	27.8	16.8	12
	平均		—		16.6	—

## 11-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図11-3-1に示す。

図11-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域で温水性魚介類の生息が確認された。

## 11-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水第1号共同漁業権が設定されており、矢部川漁業協同組合が免許を取得している。

### (2) 水産動物の放流状況

矢部川漁業協同組合による放流が行われているが、ヤマメは放流されていない。

### (3) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

図 11-3-1 水生生物の生息状況（辺春川）

## 1 2 白木川

### 12-1 水質

#### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 12-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、各年度ともに環境基準を達成している。

表 12-1-1 BOD の水質測定結果 (白木川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
白木川 [A]	山下橋	H25	0.8	～	3.8	1.6	11	2 以下
		H26	0.6	～	2.3	1.4	12	
		H27	<0.5	～	3.5	1.6	12	
		H28	0.6	～	3.0	1.4	12	
		H29	0.6	～	1.5	1.2	12	
		平均	—		1.4	—		

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 12-1-2 及び図 12-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 12-1-2 全亜鉛の水質測定結果（白木川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
山下橋	H25	<0.001	～	0.002	0.002	4
	H26	<0.001	～	0.002	0.002	4
	H27	0.001	～	0.004	0.002	4
	H28	0.001	～	0.004	0.002	4
	H29	0.001	～	0.007	0.003	4
	平均			—		0.002

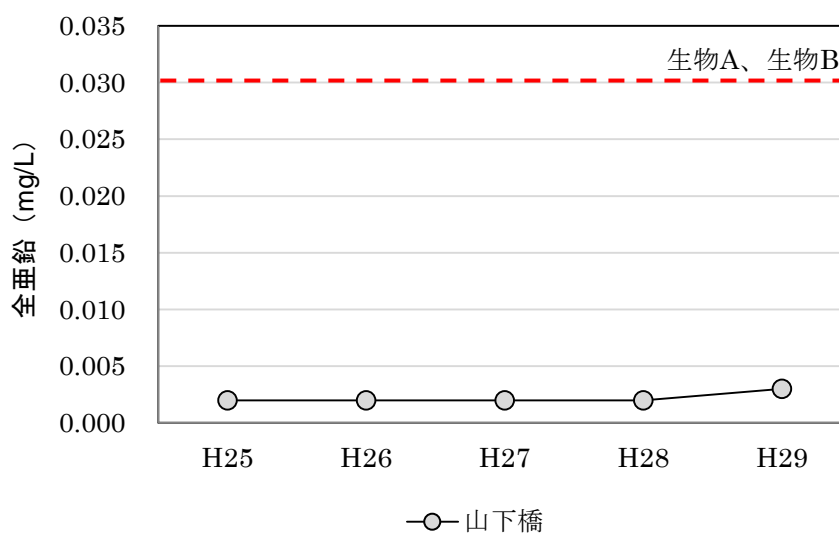


図 12-1-1 全亜鉛の水質測定結果（白木川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表12-1-3及び図12-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 12-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（白木川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
山下橋	H25	0.00006	～	0.00006	0.00006	1
	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H29	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

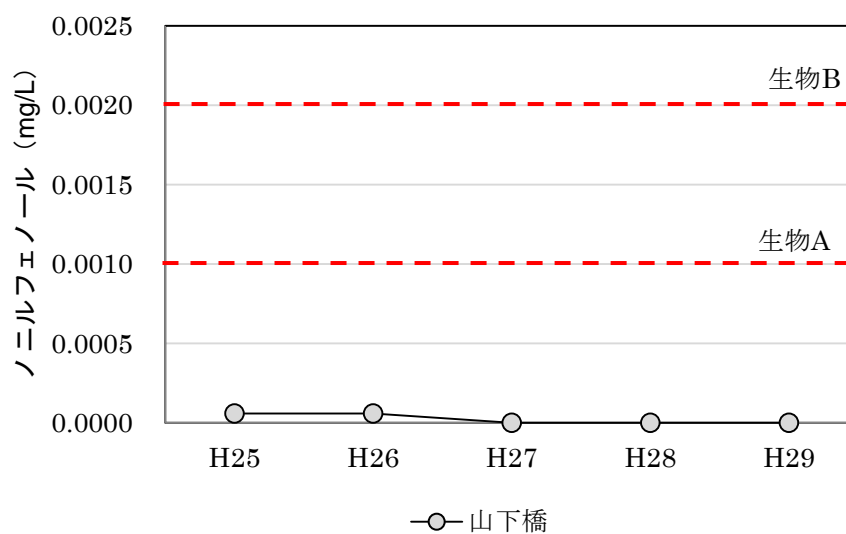


図 12-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（白木川）

(4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 12-1-4 及び図 12-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 12-1-4 LAS の水質測定結果（白木川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
山下橋	H26	0.0010	～	0.017	0.0084	4
	H27	0.0007	～	0.0052	0.0025	4
	H28	<0.0006	～	0.0024	0.0015	4
	H29	<0.0006	～	0.0062	0.0026	4
	平均	—			0.0038	—

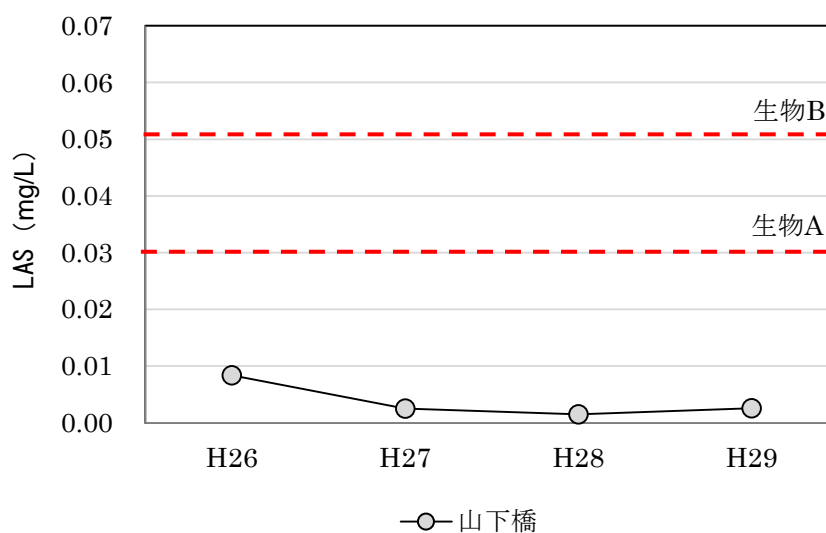


図 12-1-3 LAS の水質測定結果（白木川）

## 12-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表12-2-1に示す。

表 12-2-1 水温測定結果（白木川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
山下橋	H25	6.8	～	26.0	15.6	12
	H26	7.9	～	27.8	16.3	12
	H27	8.2	～	25.8	15.7	12
	H28	7.4	～	28.1	16.5	12
	H29	5.1	～	26.7	16.1	12
	平均		—		16.0	—

## 12-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図12-3-1に示す。

図12-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、菖蒲尾2号橋（白木川中流）で温水性魚介類の生息が確認された。

## 12-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水第1号共同漁業権が設定されており、矢部川漁業協同組合が免許を取得している。

### (2) 水産動物の放流状況

矢部川漁業協同組合による放流が行われているが、ヤマメは放流されていない。

### (3) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。



図 12-3-1 水生生物の生息状況（白木川）

### 1 3 飯江川

#### 13-1 水質

##### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 13-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、各年度ともに全ての地点で環境基準を達成している。

表 13-1-1 BOD の水質測定結果 (飯江川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					基準値
			最小	～	最大	75%値	測定回数	
飯江川上流 [A]	古賀橋	H25	0.7	～	3.9	1.9	12	2 以下
		H26	0.6	～	4.8	1.4	12	
		H27	0.5	～	7.0	1.8	12	
		H28	0.5	～	5.1	2.0	12	
		H29	0.7	～	3.6	1.8	12	
		平均	—		1.8	—		
飯江川下流 [C]	丁字橋	H25	0.9	～	2.5	2.1	12	5 以下
		H26	0.7	～	2.6	1.7	12	
		H27	0.6	～	2.3	1.6	12	
		H28	0.6	～	3.2	1.4	12	
		H29	0.7	～	2.1	1.6	12	
		平均	—		1.7	—		

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 13-1-2 及び図 13-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 13-1-2 全亜鉛の水質測定結果（飯江川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
古賀橋	H25	0.006	～	0.006	0.006	2
	H26	0.004	～	0.005	0.005	2
	H27	0.002	～	0.003	0.003	2
	H28	0.004	～	0.005	0.005	2
	H29	0.003	～	0.003	0.003	2
	平均			—		0.004
丁字橋	H25	0.010	～	0.017	0.014	2
	H26	0.007	～	0.009	0.008	2
	H27	0.003	～	0.014	0.009	2
	H28	0.008	～	0.011	0.010	2
	H29	0.005	～	0.011	0.008	2
	平均			—		0.010

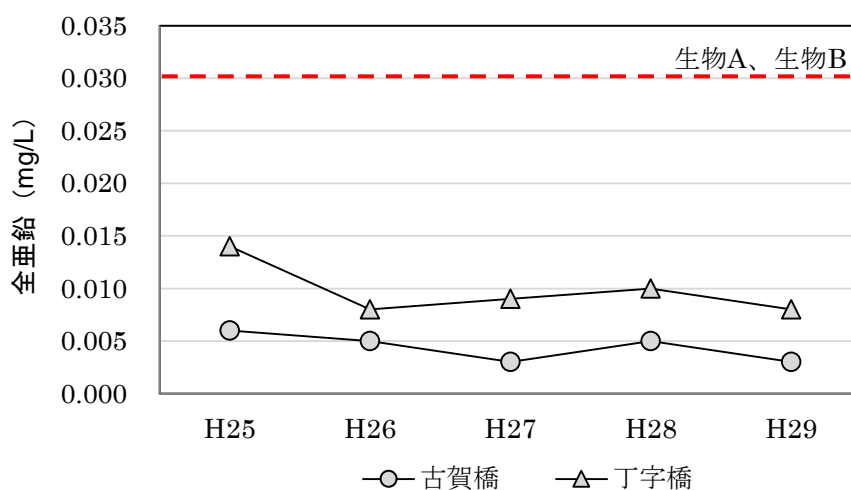


図 13-1-1 全亜鉛の水質測定結果（飯江川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表13-1-3及び図13-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表13-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（飯江川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
古賀橋	H25	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H28	<0.00006	～	0.00012	0.00008	4
	H29	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均			—	0.00006	—
丁字橋	H25	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H29	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均			—	0.00006	—

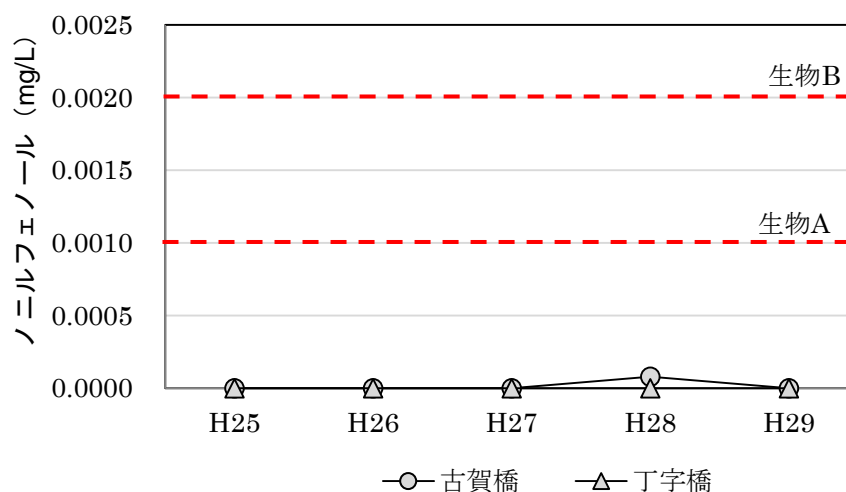


図13-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（飯江川）

(4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 13-1-4 及び図 13-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 13-1-4 LAS の水質測定結果（穂波川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
古賀橋	H26	0.0012	～	0.0012	0.0012	1
	H27	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	1
	H28	<0.0006	～	0.0054	0.0026	4
	H29	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	4
	平均		—		0.0013	—
丁字橋	H26	0.0013	～	0.0013	0.0013	1
	H27	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	1
	H28	<0.0006	～	0.0040	0.0018	4
	H29	<0.0006	～	0.0044	0.0020	4
	平均		—		0.0014	—

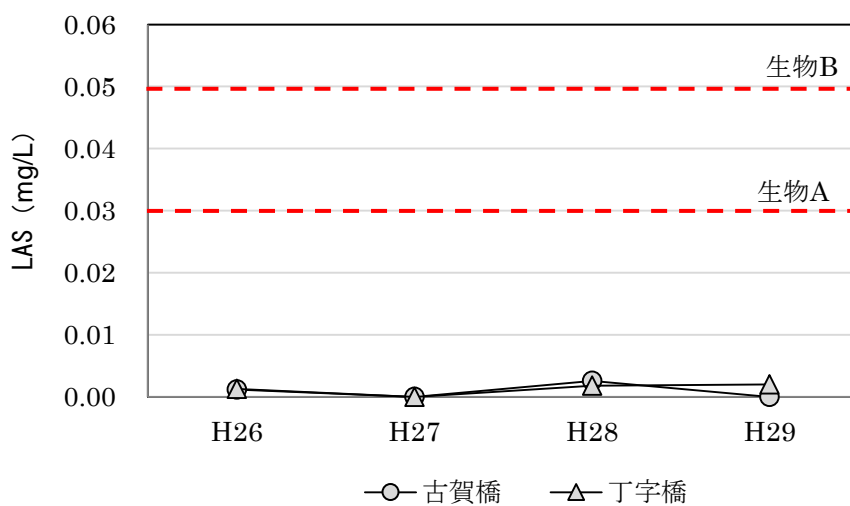


図 13-1-3 LAS の水質測定結果（飯江川）

## 13-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表13-2-1に示す。

表 13-2-1 水温測定結果（飯江川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
古賀橋	H25	6.5	～	30.5	17.8	12
	H26	4.7	～	30.2	16.1	12
	H27	6.8	～	30.2	17.8	12
	H28	6.5	～	30.2	18.7	12
	H29	3.0	～	32.0	18.4	12
	平均		—		17.8	—
丁字橋	H25	6.0	～	29.8	17.7	12
	H26	6.0	～	33.0	16.6	12
	H27	6.8	～	30.0	17.5	12
	H28	6.1	～	30.9	18.6	12
	H29	2.5	～	30.0	17.8	12
	平均		—		17.6	—

## 13-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図13-3-1に示す。

図13-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、地蔵渡橋（飯江川中流）及び眞弓橋（飯江川上流）で温水性魚介類の生息が確認された。

## 13-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権の設定はない。

### (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

図 13-3-1 水生生物の生息状況（飯江川）

## 1 4 沖端川

### 14-1 水質

#### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 14-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、磯鳥堰では平成 26 年度を除き、環境基準を達成している。また、三明橋では平成 25 年度及び平成 26 年度を除き、環境基準を達成している。

表 14-1-1 BOD の水質測定結果 (沖端川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
沖端川上流 [A]	磯鳥堰	H25	1.2	～	3.9	1.9	12	2 以下
		H26	0.8	～	4.0	2.2	12	
		H27	<0.5	～	4.5	1.9	12	
		H28	0.8	～	3.7	1.6	12	
		H29	<0.5	～	5.8	2.0	12	
		平均	—	—	—	1.9	—	
沖端川下流 [C]	三明橋	H25	2.1	～	16	8.1	12	5 以下
		H26	1.7	～	18	9.3	12	
		H27	0.8	～	10	3.8	12	
		H28	2.0	～	12	4.4	12	
		H29	2.0	～	12	5.0	12	
		平均	—	—	—	6.1	—	



(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 14-1-2 及び図 14-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 14-1-2 全亜鉛の水質測定結果（沖端川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
磯鳥堰	H25	0.001	～	0.003	0.002	4
	H26	0.002	～	0.006	0.004	4
	H27	0.001	～	0.010	0.004	4
	H28	0.002	～	0.005	0.004	4
	H29	<0.001	～	0.002	0.002	4
	平均			—		0.003
三明橋	H25	0.009	～	0.033	0.019	4
	H26	0.003	～	0.018	0.009	4
	H27	0.007	～	0.013	0.010	4
	H28	0.002	～	0.012	0.007	4
	H29	0.002	～	0.014	0.006	4
	平均			—		0.010

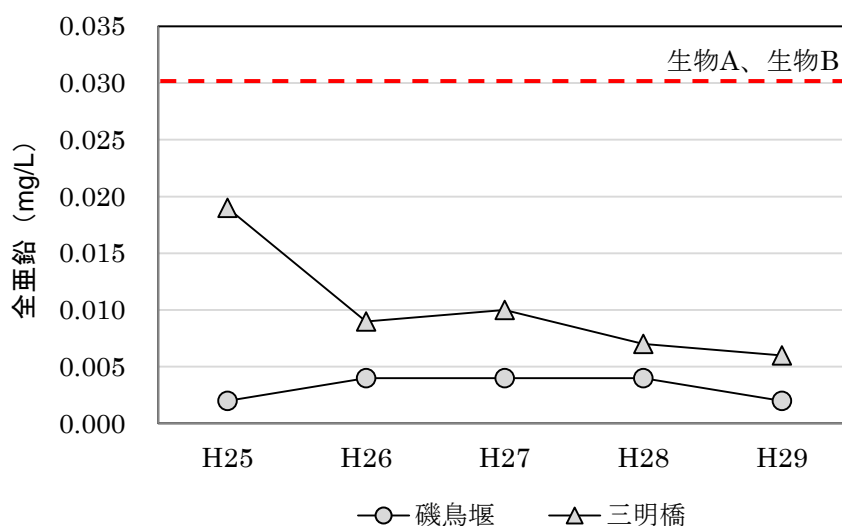


図 14-1-1 全亜鉛の水質測定結果（沖端川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表14-1-3及び図14-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 14-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（沖端川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
磯鳥堰	H25	0.00008	～	0.00008	0.00008	1
	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H29	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
三明橋	H25	0.00006	～	0.00006	0.00006	1
	H26	0.00006	～	0.0015	0.00071	4
	H27	0.00006	～	0.00022	0.00013	4
	H28	0.00009	～	0.00027	0.00019	4
	H29	0.00006	～	0.00010	0.00007	4
	平均		—		0.00023	—

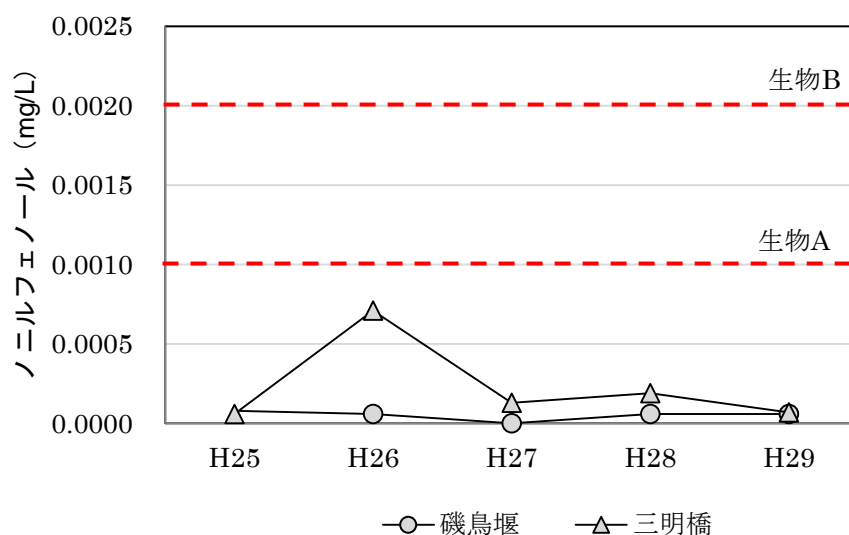


図 14-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（沖端川）

(4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 14-1-4 及び図 14-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに全ての地点で生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 14-1-4 LAS の水質測定結果 (沖端川)

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
磯鳥堰	H26	<0.0006	～	0.0050	0.0033	4
	H27	<0.0006	～	0.0018	0.0010	4
	H28	<0.0006	～	0.0009	0.0007	4
	H29	0.0006	～	0.0024	0.0011	4
	平均		—		0.0015	—
三明橋	H26	<0.0006	～	0.028	0.015	4
	H27	0.0010	～	0.0031	0.0017	4
	H28	<0.0006	～	0.0034	0.0014	4
	H29	<0.0006	～	0.012	0.0036	4
	平均		—		0.0054	—

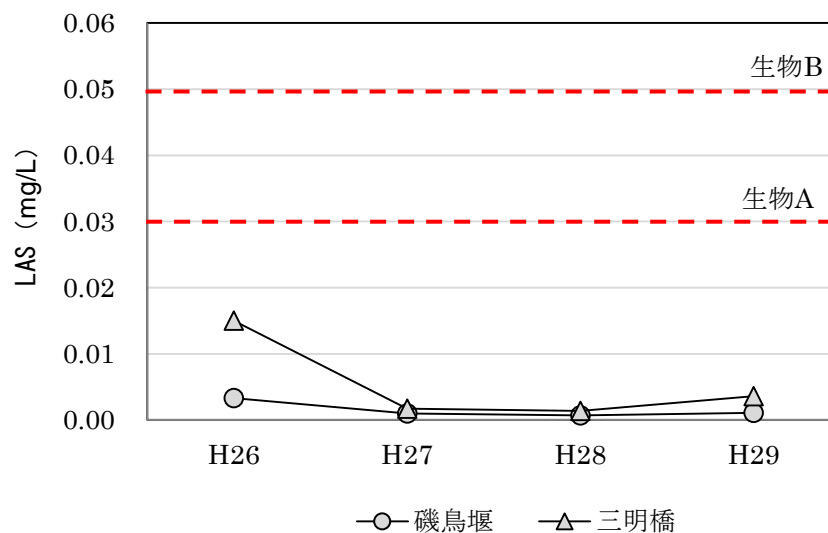


図 14-1-3 LAS の水質測定結果 (沖端川)

## 14-2 水温

過去5年間にわたって行われた水質測定における水温の測定結果を表14-2-1に示す。

表 14-2-1 水温測定結果（沖端川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
磯鳥堰	H25	7.5	～	28.5	17.8	12
	H26	7.7	～	27.5	16.8	12
	H27	8.5	～	30.4	17.0	12
	H28	9.0	～	30.0	18.0	12
	H29	4.6	～	29.6	17.6	12
	平均		—		17.4	—
三明橋	H25	6.6	～	29.6	18.0	12
	H26	6.9	～	27.1	17.7	12
	H27	8.7	～	31.9	17.7	12
	H28	9.4	～	31.3	18.9	12
	H29	4.4	～	32.1	18.4	12
	平均		—		18.1	—

## 14-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図14-3-1に示す。

図14-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域で温水性魚介類の生息が確認された。

## 14-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水第1号共同漁業権が設定されており、矢部川漁業協同組合が免許を取得している。

### (2) 水産動物の放流状況

矢部川漁業協同組合による放流が行われているが、ヤマメは放流されていない。

### (3) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 14-3-1 水生生物の生息状況（沖端川）

## 15 塩塚川

### 15-1 水質

#### (1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 15-1-1 に示す。

BOD（75%値）は、平成 29 年度のみ環境基準を達成している。

表 15-1-1 BOD の水質測定結果（塩塚川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
塩塚川 [B]	晴天大橋	H25	2.2	～	10	4.3	12	3以下
		H26	2.5	～	16	7.0	12	
		H27	1.6	～	5.6	4.7	12	
		H28	2.3	～	12	4.6	12	
		H29	1.7	～	4.7	2.9	12	
		平均		—		4.7	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表15-1-2及び図15-1-1に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 15-1-2 全亜鉛の水質測定結果（塩塚川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
晴天大橋	H25	0.006	～	0.013	0.010	4
	H26	0.007	～	0.022	0.013	4
	H27	0.004	～	0.020	0.010	4
	H28	0.003	～	0.016	0.008	4
	H29	0.001	～	0.010	0.005	4
	平均			—		0.009

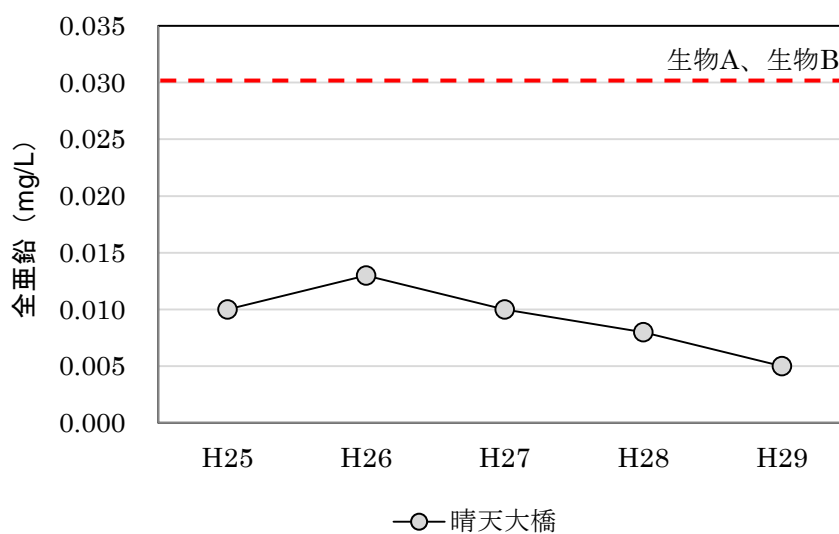


図 15-1-1 全亜鉛の水質測定結果（塩塚川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去5年間に行われた水質測定結果を表 15-1-3 及び図 15-1-2 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、各年度ともに生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 15-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（塩塚川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
晴天大橋	H25	0.00006	～	0.00006	0.00006	1
	H26	<0.00006	～	0.00023	0.00010	4
	H27	<0.00006	～	0.00008	0.00007	4
	H28	<0.00006	～	0.00008	0.00007	4
	H29	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均			—		0.00007

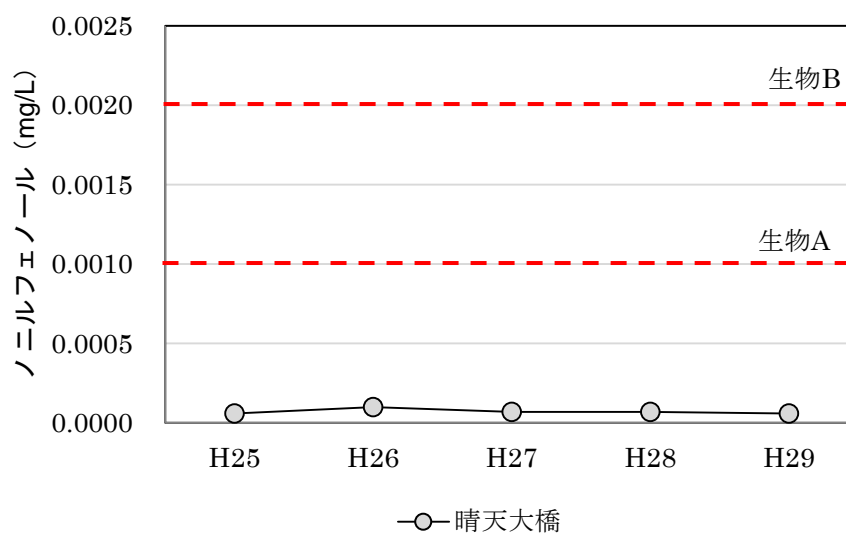


図 15-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（塩塚川）



#### (4) LAS

LAS について過去4年間に行われた水質測定結果を表 15-1-4 及び図 15-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、平成 26 年度のみ生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を上回ったが、その他の年度では生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 15-1-4 LAS の水質測定結果（塩塚川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
晴天大橋	H26	0.0052	～	0.20	0.077	4
	H27	0.0036	～	0.0087	0.0056	4
	H28	<0.0006	～	0.0073	0.0030	4
	H29	0.0016	～	0.010	0.0040	4
	平均	—			0.022	—

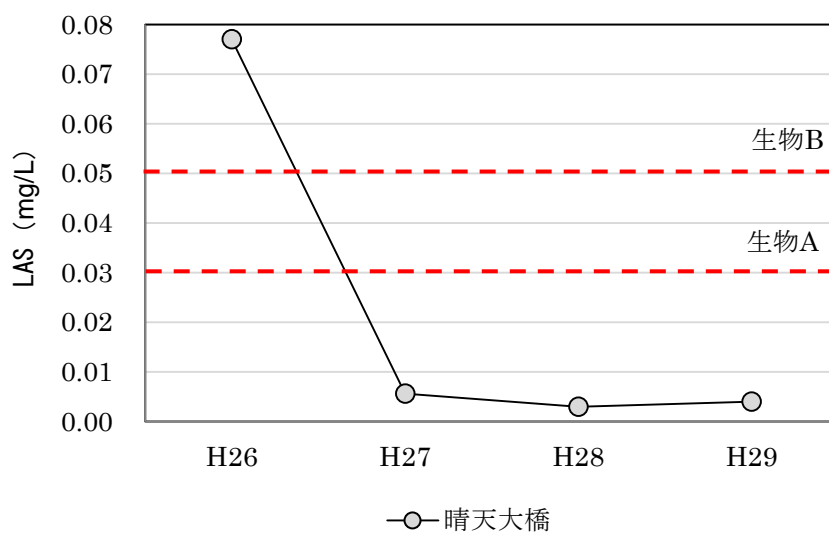


図 15-1-3 LAS の水質測定結果（塩塚川）

## 15-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表15-2-1に示す。

表 15-2-1 水温測定結果（塩塚川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
晴天大橋	H25	7.5	～	29.0	18.3	12
	H26	7.4	～	27.5	18.1	12
	H27	8.8	～	31.2	17.9	12
	H28	10.1	～	31.6	19.3	12
	H29	5.1	～	32.0	18.7	12
	平均			—	18.5	—

## 15-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図15-3-1に示す。

図15-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域で温水性魚介類の生息が確認された。

## 15-4 その他関連事項

### (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水第1号共同漁業権が設定されており、矢部川漁業協同組合が免許を取得している。

### (2) 水産動物の放流状況

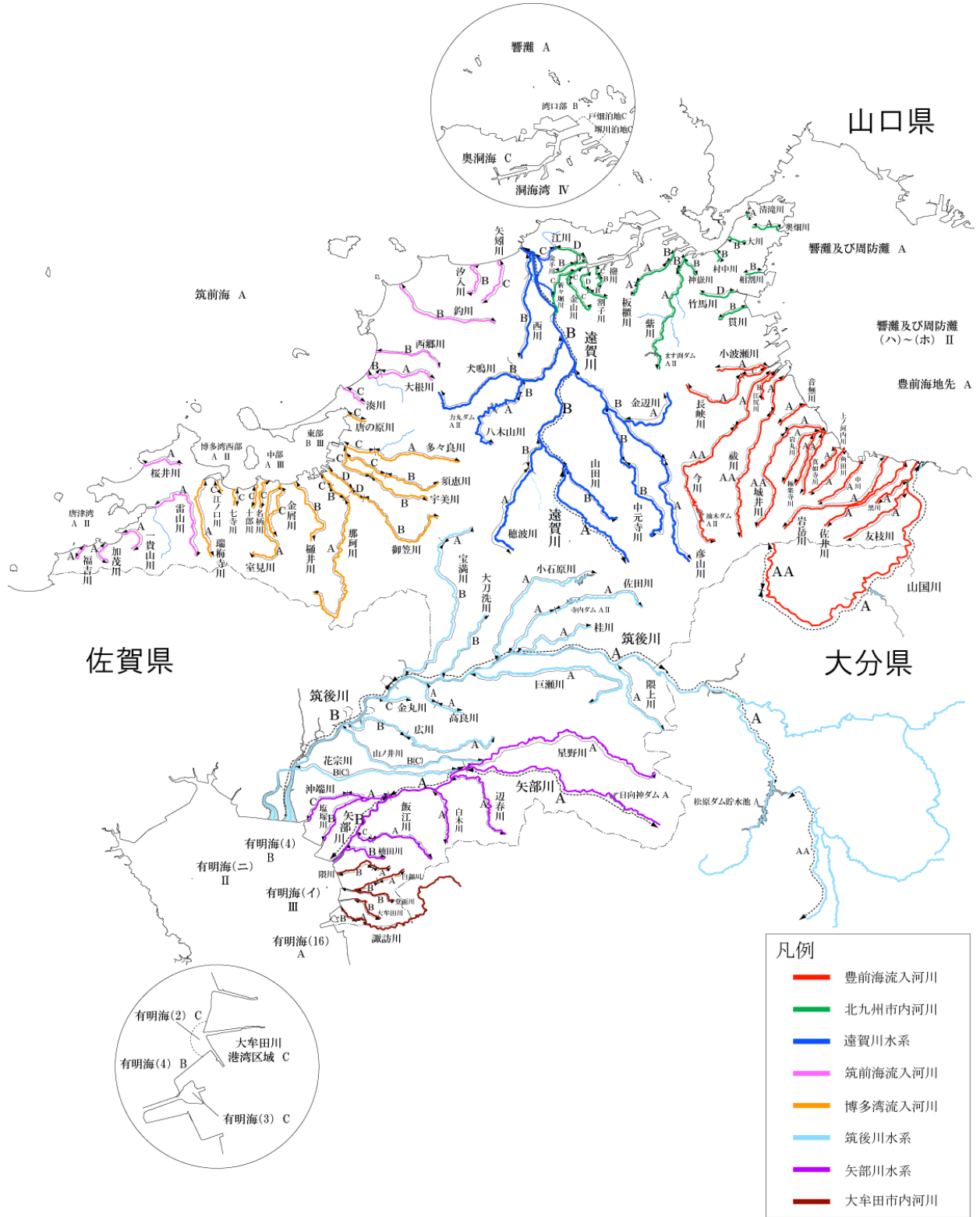
矢部川漁業協同組合による放流が行われているが、ヤマメは放流されていない。

### (3) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

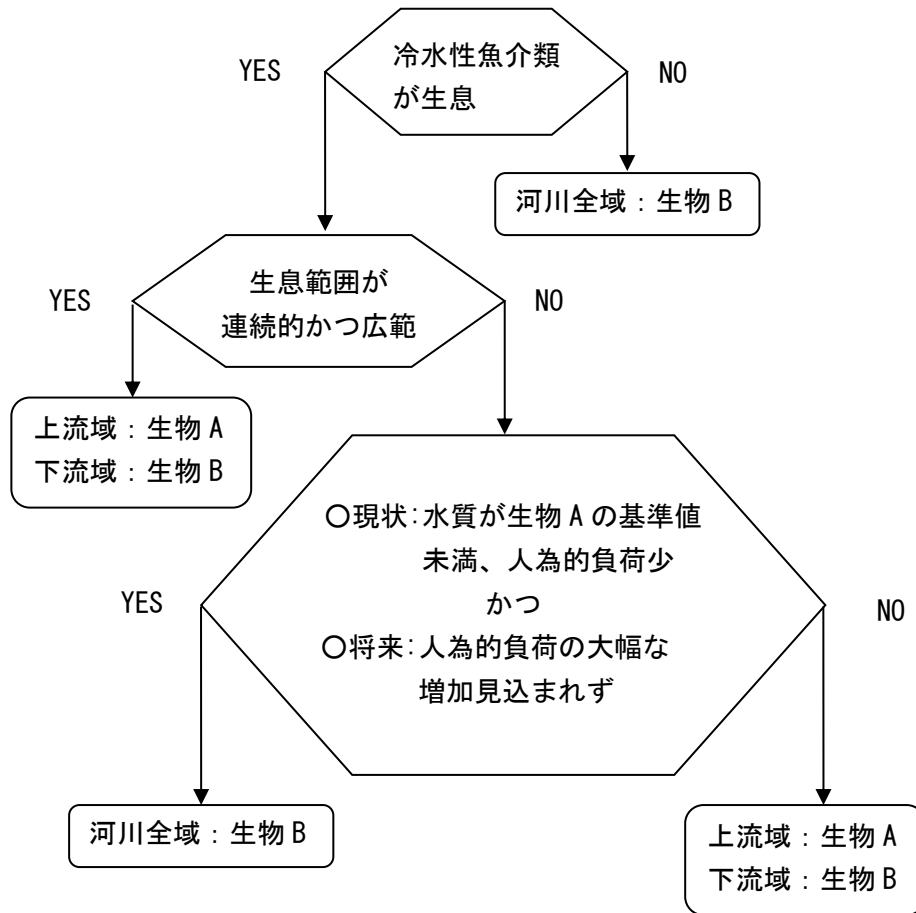
シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 15-3-1 水生生物の生息状況（塩塚川）

【公共用水域の類型指定現況図】

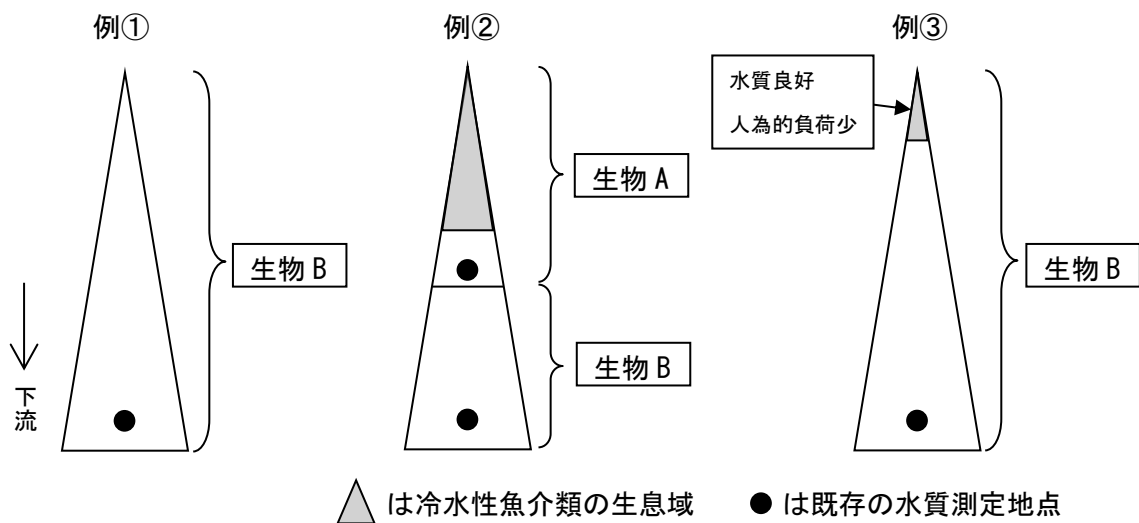


【水生生物保全環境基準の類型指定フローチャート】



※水産資源保護法に基づく保護水面等が広範囲にまとまって存在する水域は特別域に設定

【水域区分と環境基準点の設定の例】



【類型指定に係る水域区分についての情報の整理表】

○筑前海流入河川

	河川名	冷水性魚介類の生息	冷水性魚介類の生息範囲 が連続的かつ広範囲	現状：水質が生物 A 基準値 未満、人為的負荷少	将来：人為的負荷の大幅 な増加見込まれず	類型指定 (案)
1	矢矧川	×				全域：生物 B
2	汐入川	×				全域：生物 B
3	釣川	×				全域：生物 B
4	大根川	×				全域：生物 B
5	桜井川	×				全域：生物 B
6	雷山川	×				全域：生物 B
7	加茂川	×				全域：生物 B
8	福吉川	×				全域：生物 B

○矢部川

	河川名	冷水性魚介類の生息	冷水性魚介類の生息範囲 が連続的かつ広範囲	現状：水質が生物 A 基準値 未満、人為的負荷少	将来：人為的負荷の大幅 な増加見込まれず	類型指定 (案)
9	矢部川	○	○			上流：生物 A 下流：生物 B
10	星野川	○	○			全域：生物 A
11	辺春川	×				全域：生物 B
12	白木川	×				全域：生物 B
13	飯江川	×				全域：生物 B
14	沖端川	×				全域：生物 B
15	塩塚川	×				全域：生物 B

○湖沼

	湖沼名	冷水性魚介類の生息	冷水性魚介類の生息範囲 が連続的かつ広範囲	現状：水質が生物 A 基準値 未満、人為的負荷少	将来：人為的負荷の大幅 な増加見込まれず	類型指定 (案)
1	日向神ダム 貯水池	○	○			全域：生物 A

## 審議会の答申に係る福岡県意見書提出制度要綱

## (目的)

第1条 この要綱は、審議会、審査会等（法律又は条例により設置されたもの以外のものも含む。以下「審議会」という。）が、知事からの諮問事項を審議する場合において、県民に意見を求める手続（以下「本手続」という。）を定めることにより、県民の多様な意見を把握できるようにするとともに、行政運営における透明性の向上に寄与することを目的とする。

## (対象)

第2条 本手続は、審議会が、知事から諮問された事項について実施するものとする。ただし、次に規定するものはこの限りでない。

- (1) 条例案等議会に付議されるもの
- (2) 技術基準等専門性が高いもの
- (3) 個別具体の処分に関するもの
- (4) 公聴会及びアセスメントその他の手続で県民の意見を聞く措置がとられているもの
- (5) その他本手続を行うことが適当でない認められるもの

2 審議会は、知事からの諮問事項以外の事項であって前項各号に該当しないものについて、本手続に準じた手続を行うことができる。

## (実施時期)

第3条 本手続は、答申案又は答申案の骨子を作成後、知事に答申を行う前に実施するものとする。

## (意見提出者)

第4条 本手続において、意見を提出することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 県の区域内に住所を有する者
- (2) 県の区域内に事務所等を有する個人及び法人その他の団体
- (3) 県の区域内に存する事務所等に勤務する者
- (4) 県の区域内に存する学校に在学する者

## (意見募集の方法)

第5条 県民に対する意見の募集は、県公報への登載並びに県民情報センター及び地区県民情報コーナーにおける閲覧又は配布の方法により、答申案又は答申案の骨子を公表して行うものとする。ただし、答申案の内容が相当量に及ぶときは、県公報には答申案の要旨及び答申案全体の閲覧場所又は配布場所を登載するものとする。

2 前項本文に規定するもののほか、審議会が必要と認める方法を用いることができる。

## (意見提出の期間)

第6条 県民が意見を提出することができる期間については、二週間を標準として審議会



が定めるものとし、前条に規定する意見募集時に県公報において明示するものとする。

(意見提出の方法)

第7条 県民からの意見は、別に定める意見書により求めるものとする。

(提出された意見の取扱い)

第8条 審議会は、提出された意見及び知事への答申について、それぞれの要旨を公表するものとする。

2 前項の公表の方法については、第5条に準じるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行前に、既に審議会に諮問されている事項については、本手続の対象としない。